

大学番号 54

注3

設置年度

平成

30年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

**事前伺い**

京都工芸繊維大学 工芸科学部 デザイン・建築学課程

注2

## 【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人京都工芸繊維大学

令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務企画課

職名・氏名

ソウムキカクカカリ サウ ムラ  
総務企画係 澤村

電話番号

075-724-7014

（夜間）

075-724-7014

e-mail

soumuki@jim.kit.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

( ) 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

工芸科学部

＜デザイン・建築学課程＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	34
4. 既設大学等の状況	35
5. 教員組織の状況	37
6. 附帯事項等に対する履行状況等	55
7. その他全般的事項	56

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人京都工芸繊維大学

## (2) 大学名

京都工芸繊維大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒606-8585

京都府京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(モリサコ キヨタカ) 森迫 清貴 (平成30年4月1日)		
理事	(ツツミ ナオト) 堤 直人 (平成30年4月1日)	(コサカイ カツヤ) 小酒井 克也 (令和3年4月1日)	任期満了に伴う交代 (3)
	(ヨシモト マサヒロ) 吉本 昌広 (平成30年4月1日)		
	(ワタナベ ヒデキ) 渡部 英樹 (平成28年4月1日)	(イヌイ ケンイチ) 乾 賢一 (平成31年4月1日)	新規就任(元)
		(オノ ヨシロウ) 小野 芳朗 (平成30年7月1日)	新規就任(元)
		(ヒダカ カズキ) 日高 一樹 (令和2年4月1日)	新規就任(2)
学部長	(マエダ コウジ) 前田 耕治 (平成30年4月1日)	(ホウチン テルヒサ) 寶珍 輝尚 (令和3年4月1日)	任期満了に伴う交代 (3)
課程長	(ナカノ ヨシト) 中野 仁人 (平成30年4月1日)	(サカタ コウイチ) 阪田 弘一 (令和3年4月1日)	任期満了に伴う交代 (3)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
工芸科学部 デザイン・建築学課程 学士（工学）	工学関係	4年	156人	13人 年次人	650人	新規入学者を募集集中	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	156 ( - ) [ 若干名 ]	-	156 ( - ) [ 若干名 ]	-	156 ( 13 ) [ 若干名 ]	-	156 ( 13 ) [ 若干名 ]	-	1.01倍	-	
志願者数	1062 ( - ) [ 22 ]	- ( - ) [ - ]	951 ( - ) [ 23 ]	- ( - ) [ - ]	761 ( 63 ) [ 12 ]	- ( - ) [ - ]	944 ( 70 ) [ 16 ]	- ( - ) [ - ]			
受験者数	925 ( - ) [ 19 ]	- ( - ) [ - ]	823 ( - ) [ 22 ]	- ( - ) [ - ]	654 ( 57 ) [ 12 ]	- ( - ) [ - ]	786 ( 59 ) [ 15 ]	- ( - ) [ - ]			
合格者数	170 ( - ) [ 6 ]	- ( - ) [ - ]	166 ( - ) [ 3 ]	- ( - ) [ - ]	176 ( 15 ) [ 3 ]	- ( - ) [ - ]	167 ( 15 ) [ 3 ]	- ( - ) [ - ]			
B 入学者数	162 ( - ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	159 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	158 ( 13 ) [ 3 ]	- ( - ) [ - ]	157 ( 14 ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]			
入学定員超過率 B/A	1.03		1.01		1.01		1.00				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度				備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	162 [ 2 ] ( - )	- [ - ] ( - )	159 [ 1 ] ( - )	- [ - ] ( - )	158 [ 3 ] ( - )	- [ - ] ( - )	157 [ 1 ] ( - )	- [ - ] ( - )	[ ]	[ ]	3年次編入生13名入学 (令和2年度) 3年次編入生14名入学 (令和3年度)
2年次	/		161 [ 2 ] ( - )	- [ - ] ( - )	159 [ 1 ] ( - )	- [ - ] ( - )	157 [ 2 ] ( - )	- [ - ] ( - )	[ ]	[ ]	
3年次	/		/		172 [ 4 ] ( - )	- [ - ] ( - )	173 [ 1 ] ( - )	- [ - ] ( - )	[ ]	[ ]	
4年次	/		/		/		172 [ 4 ] ( - )	- [ - ] ( - )	[ ]	[ ]	
計	162 [ 2 ] ( - )		320 [ 3 ] ( - )		489 [ 8 ] ( - )		659 [ 8 ] ( - )		[ ]	[ ]	

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	162 人	1 人	平成30年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1名)
令和元年度	320 人	2 人	平成30年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(2名)
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	489 人	1 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1名)
令和3年度	659 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合計		4 人		4 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{162} = \boxed{0.61} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{320} = \boxed{0.62} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{489} = \boxed{0.2} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{659} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。













科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
教職に関する科目	現代教師論	1後			2						1
	教育原論	1前			2						1
	日本教育史	1前			2						1
	教育心理学	1後			2						1
	教育社会学	1前			2						1
	教育課程論	1前			2						1
	工業教育法	2前・後			4						1
	道徳教育の理論と方法	1後			2						1
	特別活動論	1前			2						1
	教育方法論	1後			2						1
	視聴覚教育概説	1後			2						1
	生徒指導	1前			2						1
	教育相談論	1前			2						1
	教職実践演習(中・高)	4後			2						4
	教育実習Ⅰ	4前			2						1
	教育実習Ⅱ	4前			2						1
	教育実習Ⅲ	4前			1						1
	職業指導Ⅰ	1前			2						1
職業指導Ⅱ	1後			2						1	
小計(19科目)			0	0	41	0	0	0	0	0	13
学芸員資格取得のための授業科目	博物館概論	3前			2			1			
	博物館学Ⅰ	3前			2	2					
	博物館学Ⅱ	3後			2		2				
	文化財学	2前			2	2					
	文化財保存科学	3前			2						1
	教育学概論	3前			2						1
	博物館教育論	3後			1						1
	生涯学習概論	3前			2						1
	博物館情報・メディア論	3後			2						1
	博物館実習	4通			3	2	1				
	デザインマネジメント	3後			2		1				
	京の産業技術史	1後			2						1
小計(12科目)			0	0	24	3	4	1	0	0	5
合計(312科目+11科目(地域創生))			33	514	80	22	16	6	11	2	299

卒業要件及び履修方法

**一般プログラム(デザイン)**  
英語必修6単位を含む言語教育科目から12単位以上、工芸科学教養科目の選択科目から10単位以上と基本教養科目の選択科目から6単位以上とを合わせて人間教養科目22単位以上、専門導入科目4単位、専門基礎科目の選択科目から6単位以上、課程専門科目の卒業研究8単位、選択科目から26単位以上(マネジメント論科目及びエンジニアリング論科目から、それぞれ2単位以上修得した上で合計8単位以上修得すること)を修得し、専門教育科目90単位以上及び合計134単位以上修得すること。  
(履修科目の登録の上限:50単位(年間))

**地域創生Tech Program(デザイン)**  
英語必修6単位を含む言語教育科目から12単位以上、工芸科学教養科目の選択科目から10単位以上と基本教養科目の選択科目から6単位以上とを合わせて人間教養科目22単位以上、専門導入科目5単位、専門基礎科目の選択科目から6単位以上、課程専門科目の必修科目6単位と卒業プロジェクト(8単位)の14単位、選択科目から26単位以上(マネジメント論科目及びエンジニアリング論科目から、それぞれ2単位以上修得した上で合計8単位以上修得すること)を修得し、専門教育科目90単位以上及び合計134単位以上修得すること。  
(履修科目の登録の上限:50単位(年間))

**一般プログラム(建築)**  
英語必修6単位を含む言語教育科目から12単位以上、工芸科学教養科目の選択科目から10単位以上と基本教養科目の選択科目から6単位以上とを合わせて人間教養科目22単位以上、専門導入科目4単位、専門基礎科目の選択科目から4単位以上、課程専門科目の卒業研究の8単位、選択科目から18単位以上を修得し、専門教育科目90単位以上及び合計134単位以上修得すること。  
(履修科目の登録の上限:50単位(年間))

**地域創生Tech Program(建築)**  
英語必修6単位を含む言語教育科目から12単位以上、工芸科学教養科目の選択科目から10単位以上と基本教養科目の選択科目から6単位以上とを合わせて人間教養科目22単位以上、専門導入科目5単位、専門基礎科目の選択科目から4単位以上、課程専門科目の必修科目6単位と卒業プロジェクト(8単位)の14単位、選択科目から18単位以上を修得し、専門教育科目90単位以上及び合計134単位以上修得すること。  
(履修科目の登録の上限:50単位(年間))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
教職に関する科目	現代教師論	1後			2						1
	教育原論	1前			2						1
	日本教育史	1前			2						1
	教育心理学	1後			2						1
	特別支援教育	1後			1						1
	教育社会学	1前			2						1
	教育課程論	1前			2						1
	工業教育法	2前・後			4						1
	道徳教育の理論と方法	1後			2						1
	特別活動論	1前			2						1
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	1前			2						1
	教育方法論	1後			2						1
	視聴覚教育概説	1後			2						1
	生徒指導	1前			2						1
	教育相談・進路指導論	1前			2						1
	教職実践演習(中・高)	4後			2						4
	教育実習Ⅰ	4前			2						1
	教育実習Ⅱ	4前			2						1
教育実習Ⅲ	4前			1						1	
職業指導Ⅰ	1前			2						1	
職業指導Ⅱ	1後			2						1	
小計(16科目)			0	0	32	0	0	0	0	0	12
学芸員資格取得のための授業科目	博物館概論	3前			2			1	0		
	博物館学Ⅰ	3前			2	2		0			
	博物館学Ⅱ	3後			2	0		1			1
	文化財学	2前			2	1					1
	文化財保存科学	3前			2						1
	教育学概論	3前			2						1
	博物館教育論	3後			1						1
	生涯学習概論	3前			2						1
	博物館情報・メディア論	3後			2			1			1
	博物館実習	4通			3	2	0			1	
	デザインマネジメント	3後			2	1	0				
	京の産業技術史	1前			2						1
小計(12科目)			0	0	24	3	3	0	2	0	6
合計(309科目+11科目(地域創生))			33	509	73	24	19	1	9	2	296

卒業要件及び履修方法

**一般プログラム(デザイン)**  
英語必修6単位を含む言語教育科目から12単位以上、工芸科学教養科目の選択科目から10単位以上と基本教養科目の選択科目から6単位以上とを合わせて人間教養科目22単位以上、専門導入科目4単位、専門基礎科目の選択科目から6単位以上、課程専門科目の卒業研究8単位、選択科目から26単位以上(マネジメント論科目及びエンジニアリング論科目から、それぞれ2単位以上修得した上で合計8単位以上修得すること)を修得し、専門教育科目90単位以上及び合計134単位以上修得すること。  
(履修科目の登録の上限:50単位(年間))

**地域創生Tech Program(デザイン)**  
英語必修6単位を含む言語教育科目から12単位以上、工芸科学教養科目の選択科目から10単位以上と基本教養科目の選択科目から6単位以上とを合わせて人間教養科目22単位以上、専門導入科目5単位、専門基礎科目の選択科目から6単位以上、課程専門科目の必修科目6単位と卒業プロジェクト(8単位)の14単位、選択科目から26単位以上(マネジメント論科目及びエンジニアリング論科目から、それぞれ2単位以上修得した上で合計8単位以上修得すること)を修得し、専門教育科目90単位以上及び合計134単位以上修得すること。  
(履修科目の登録の上限:50単位(年間))

**一般プログラム(建築)**  
英語必修6単位を含む言語教育科目から12単位以上、工芸科学教養科目の選択科目から10単位以上と基本教養科目の選択科目から6単位以上とを合わせて人間教養科目22単位以上、専門導入科目4単位、専門基礎科目の選択科目から4単位以上、課程専門科目の卒業研究の8単位、選択科目から18単位以上を修得し、専門教育科目90単位以上及び合計134単位以上修得すること。  
(履修科目の登録の上限:50単位(年間))

**地域創生Tech Program(建築)**  
英語必修6単位を含む言語教育科目から12単位以上、工芸科学教養科目の選択科目から10単位以上と基本教養科目の選択科目から6単位以上とを合わせて人間教養科目22単位以上、専門導入科目5単位、専門基礎科目の選択科目から4単位以上、課程専門科目の必修科目6単位と卒業プロジェクト(8単位)の14単位、選択科目から18単位以上を修得し、専門教育科目90単位以上及び合計134単位以上修得すること。  
(履修科目の登録の上限:50単位(年間))













**一般プログラム(デザイン)**

英語必修6単位を含み言語教育科目から12単位以上、工芸科学教養科目の選択科目から10単位以上と基本教養科目の選択科目から6単位以上とを合わせて人間教養科目22単位以上、専門導入科目4単位、専門基礎科目の選択科目から6単位以上、課程専門科目の卒業研究8単位、選択科目から26単位以上(マネジメント論科目及びエンジニアリング論科目から、それぞれ2単位以上修得した上で合計8単位以上修得すること)を修得し、専門教育科目90単位以上及び合計134単位以上修得すること。

(履修科目の登録の上限:50単位(年間))

**地域創生Tech Program(デザイン)**

英語必修6単位を含み言語教育科目から12単位以上、工芸科学教養科目の選択科目から10単位以上と基本教養科目の選択科目から6単位以上とを合わせて人間教養科目22単位以上、専門導入科目5単位、専門基礎科目の選択科目から6単位以上、課程専門科目の必修科目6単位と卒業プロジェクト(8単位)の14単位、選択科目から26単位以上(マネジメント論科目及びエンジニアリング論科目から、それぞれ2単位以上修得した上で合計8単位以上修得すること)を修得し、専門教育科目90単位以上及び合計134単位以上修得すること。

(履修科目の登録の上限:50単位(年間))

**一般プログラム(建築)**

英語必修6単位を含み言語教育科目から12単位以上、工芸科学教養科目の選択科目から10単位以上と基本教養科目の選択科目から6単位以上とを合わせて人間教養科目22単位以上、専門導入科目4単位、専門基礎科目の選択科目から4単位以上、課程専門科目の卒業研究の8単位、選択科目から18単位以上を修得し、専門教育科目90単位以上及び合計134単位以上修得すること。

(履修科目の登録の上限:50単位(年間))

**地域創生Tech Program(建築)**

英語必修6単位を含み言語教育科目から12単位以上、工芸科学教養科目の選択科目から10単位以上と基本教養科目の選択科目から6単位以上とを合わせて人間教養科目22単位以上、専門導入科目5単位、専門基礎科目の選択科目から4単位以上、課程専門科目の必修科目6単位と卒業プロジェクト(8単位)の14単位、選択科目から18単位以上を修得し、専門教育科目90単位以上及び合計134単位以上修得すること。

(履修科目の登録の上限:50単位(年間))

**一般プログラム(デザイン)**

英語必修6単位を含み言語教育科目から12単位以上、工芸科学教養科目の選択科目から10単位以上と基本教養科目の選択科目から6単位以上とを合わせて人間教養科目22単位以上、専門導入科目4単位、専門基礎科目の選択科目から6単位以上、課程専門科目の卒業研究8単位、選択科目から26単位以上(マネジメント論科目及びエンジニアリング論科目から、それぞれ2単位以上修得した上で合計8単位以上修得すること)を修得し、専門教育科目90単位以上及び合計134単位以上修得すること。

(履修科目の登録の上限:50単位(年間))

**地域創生Tech Program(デザイン)**

英語必修6単位を含み言語教育科目から12単位以上、工芸科学教養科目の選択科目から10単位以上と基本教養科目の選択科目から6単位以上とを合わせて人間教養科目22単位以上、専門導入科目5単位、専門基礎科目の選択科目から6単位以上、課程専門科目の必修科目6単位と卒業プロジェクト(8単位)の14単位、選択科目から26単位以上(マネジメント論科目及びエンジニアリング論科目から、それぞれ2単位以上修得した上で合計8単位以上修得すること)を修得し、専門教育科目90単位以上及び合計134単位以上修得すること。

(履修科目の登録の上限:50単位(年間))

**一般プログラム(建築)**

英語必修6単位を含み言語教育科目から12単位以上、工芸科学教養科目の選択科目から10単位以上と基本教養科目の選択科目から6単位以上とを合わせて人間教養科目22単位以上、専門導入科目4単位、専門基礎科目の選択科目から4単位以上、課程専門科目の卒業研究の8単位、選択科目から18単位以上を修得し、専門教育科目90単位以上及び合計134単位以上修得すること。

(履修科目の登録の上限:50単位(年間))

**地域創生Tech Program(建築)**

英語必修6単位を含み言語教育科目から12単位以上、工芸科学教養科目の選択科目から10単位以上と基本教養科目の選択科目から6単位以上とを合わせて人間教養科目22単位以上、専門導入科目5単位、専門基礎科目の選択科目から4単位以上、課程専門科目の必修科目6単位と卒業プロジェクト(8単位)の14単位、選択科目から18単位以上を修得し、専門教育科目90単位以上及び合計134単位以上修得すること。

(履修科目の登録の上限:50単位(年間))

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
言語教育科目	英語	Interactive English A	1前	1								10	
		Interactive English B	1後	1								10	
		Career English Basic	1前	1								7	
		Academic English	1後	1								6	
		Career English Intermediate	2前・後	1								5	
		Career English Advanced	2前・後	1								5	
		Active English CLIL	2前・後		1							2	
		Active English Listening & Speaking I	2前・後		1							6	
		Active English Listening & Speaking II	2前・後		1							3	
		Active English Reading I	2前・後		1							4	
		Active English Reading II	2前・後		1							1	
		Active English Writing I	2前・後		1							4	
		Active English Writing II	2前・後		1							1	
		Active English Project-Based Learning	2前・後		1							3	
	ドイツ語	ドイツ語初級基礎A	1前	1								2	
		ドイツ語初級基礎B	1後	1								2	
		ドイツ語初級演習A	1前	1								2	
		ドイツ語初級演習B	1後	1								2	
		ドイツ語中級A	2前	1								2	
		ドイツ語中級B	2後	1								2	
		ドイツ語上級A	3前	1								1	
	ドイツ語上級B	3後	1								1		
	フランス語	フランス語初級基礎A	1前	1								4	
		フランス語初級基礎B	1後	1								4	
		フランス語初級演習A	1前	1								3	
		フランス語初級演習B	1後	1								3	
		フランス語中級A	2前	1								2	
		フランス語中級B	2後	1								2	
		フランス語上級A	3前	1								1	
	フランス語上級B	3後	1								1		
	中国語	中国語初級基礎A	1前	1								1	
		中国語初級基礎B	1後	1								1	
		中国語初級演習A	1前	1								1	
		中国語初級演習B	1後	1								1	
		中国語中級A	2前	1								2	
		中国語中級B	2後	1								2	
小計(36科目)			6	30	0	0	0	0	0	0	46		
人間教育科目	工学科学入門	工学科学基礎	1前	1		1						5	
		キャリア教育基礎	1前	1								3	
		KITスタンダード	1後	2		0						10	
		学習・キャリア戦略論	1後	2								1	
		国際理解	1前	1								2	
		人権教育	1前	2								1	
	工学科学授業科目	ものづくりと技術戦略	地球環境論	1前	2								2
			環境マネジメント	3前	1								1
			環境問題と持続可能な社会	1前	2								1
			環境と法	1後	2								1
			環境論	1後	2								1
			エネルギー科学	1後	2								1
			情報セキュリティと情報倫理	1後	2								3
			生命倫理と環境倫理	2前	2								1
			テクノロジー論	2後	2								1
			現代科学と倫理	1前	2								1
			ものづくりと生命物質科学	1後	2								13
	リーダーシップと経営戦略	リーダーシップと経営戦略	ものづくりと設計工学	1前	2								12
			伝統産業概論Ⅰ(未開講)	1前	2								2
			伝統産業概論Ⅱ(未開講)	1後	2								2
			産学連携ものづくり実習	3前	4								1
			ものづくり加工実習	2後	2								2
			実践ユニバーサルデザイン	1前	2								2
			リーダーシップ基礎Ⅰ	1前	2			0		1			8
			地域連携プロジェクト	1後	2								1
			リーダーシップ基礎Ⅱ	1後	2								3
			SDGsをまなぶ	1前	2								2
知的財産経営論	1前	2								1			
ベンチャー企業経営学	3後	2								1			
リーダーシップ実践Ⅰ	1前	2								1			
リーダーシップ実践Ⅱ	1後	2			0					1			
地域連携プロジェクト	1前	1								3			
国際連携プロジェクトⅠ	4前	1								3			
国際連携プロジェクトⅡ	4前	2			1					3			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
工学科学教養科目	京のサステイナブルデザイン	2前	2								4	
	文化財学	2前	2			1			1			
	文化芸術都市としての京都	2前	2								2	
	京の伝統工芸-技と美	3前	2			2	0				7	
	京の伝統工芸-知と美	4前	2								2	
	京の意匠	1後	2			1						
	京のまち	3後	2			2	2	0	1			
	京の知恵 伝統産業の先進的ものづくり	2後	2								1	
	京の産業技術史	1前	2								1	
	京の生活文化史	1前・後	2								1	
	京都の文学 I	1前	2								1	
	京都の文学 II	1後	2								1	
	京都の歴史 I	1前	2								3	
	京都の歴史 II	1後	2								3	
	現代京都論	1前	2								1	
	京都の農林業	1後	2								8	
	京都の自然	1前	2								1	
	宗教と文化	1後	2								1	
	英語で京都	3後	2								1	
	近代京都と三大学	1前	2			1					4	
	京野菜を栽培する(リハラルーツ・セミナー)	1前	1								2	
	京都の経済	1後	2								1	
	資料で楽しむ京都学(リハラルーツ・セミナー)	2後	2								1	
	京都の文化と文化財	1後	2								2	
	小計 (52科目)			0	96	0	6	4	0	3	0	103
	人間教養科目	法学	1前	2								1
		憲法	1後	2								1
経済学		2前	2								1	
心理学		1前	2								1	
現代教育論		1前	2								1	
政治学		1後	2								1	
経済学入門		1後	2								1	
国際政治		1前	2								1	
生活と経済		1後	2								1	
社会学 I		1前	2								1	
社会学 II		1後	2								1	
現代社会と心		1後	2								1	
現代社会とジェンダー		1前	2								1	
観光学 α		2前	2								1	
食環境をめぐる国際社会と日本 α		1後	2								2	
人文地理学 I		1前	2								1	
人文地理学 II		1後	2								1	
認知心理学		1後	2								1	
医史学		1後	2								1	
発達心理学		1前	2								1	
社会科学の学び方(リハラルーツ・セミナー)		1後	2								1	
現代社会と映画製作(リハラルーツ・セミナー)		1前	1								1	
世界はいま(リハラルーツ・セミナー)		1後	1								1	
現代イスラム世界の文化と社会(リハラルーツ・セミナー)		1前	1								1	
経営哲学(リハラルーツ・セミナー)		2後	2								1	
現代正義論(リハラルーツ・セミナー)		1後	2								1	
哲学		1前	2								1	
歴史学		1後	2								2	
舞台芸術論		3前	2								1	
日本近代精神史		1後	2								1	
美と芸術		1前	2				1					
比較宗教学		1前	2								1	
西洋文学論		1前	2								1	
日本近現代文学	1後	2								1		
科学と思想(リハラルーツ・セミナー)	1後	2								1		
東西文化交流史	1後	2								1		
西洋文化論	1後	2								1		
日本史	1後	2								1		
フランス語圏の文化とジャポニスム	2前	2								1		

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
人間 教養科目	人と文化	アジアの歴史と文化	1後	2								1
		ヨーロッパの歴史と文化	1前	2								3
		映画で学ぶ英語と文化	3後	2								1
		映画で学ぶドイツ語と文化	3前	2								1
		日本文学Ⅰ	1前	2								1
		日本文学Ⅱ	1後	2								1
		ラテン語	1後	2								1
		文芸創作論	1後	2								1
		現代社会に学ぶ問う 力・書く力(リベラルアーツ・ ゼミナール)	1前	2								1
		感性の実践哲学(リベラ ルアーツ・ゼミナール)	1前	1								1
	人と自然	人と自然と数学α	1前	2								1
		人と自然と数学β	1後	2								1
		人と自然と物理学	1後	2								3
		化学概論Ⅰ	1前	2								1
		化学概論Ⅱ	1後	2								1
		生物学概論Ⅰ	1前	2								1
		生物学概論Ⅱ	1後	2								1
		地球の科学	1後	2								1
		エネルギー科学	1前	2								1
		科学史	1前	2								1
基本 教養科目	物理学Ⅰ	1前	2								1	
	食と健康の科学	1前	2								1	
	生命科学講話	1前	2								15	
	時間生物学特論	3前	2								1	
	生物学的人間学	1前	2								1	
	医学概論	2後	2								1	
	医療人類学	1前	2								1	
	意外と知らない植物の世界	1後	2		0		1		0		1	
	レーザーで見る、創る、楽しむ (リベラルアーツ・ゼミナール)	1前	2								1	
	京都の防災と府民	1後	2		1	1					1	
製品の機能から科学を 学ぶ(リベラルアーツ・ゼミ ナール)	1前	2								1		
小計(64科目)		0	125	0	1	2	1	0	0	0	75	
体の 科学	キャンパスヘルス概論	1前	2								1	
	健康体力科学	2後	2								2	
	生涯スポーツ	2前・後	2								3	
	生体行動科学	2前	2								2	
	スポーツ科学Ⅰ	1前	2								3	
	スポーツ科学Ⅱ	1後	2								3	
	小計(6科目)		0	12	0	0	0	0	0	0	0	10
専門 教育科目	専門 導入科目	ソーシャルインタラクショ ンデザイン概論	1前	2			22	17	2	12	1	
		デザイン・建築基礎実習	1前	2			22	17	2	12	1	
		地域課題導入セミナー	1前	1								3
		小計(3科目)		5	0	0	22	17	2	12	1	3
	数学	基礎解析Ⅰ	1前	2								2
		線形代数学Ⅰ	1前	2								2
		数学演習Ⅰ	1前	2								2
		基礎解析Ⅱ	1後	2								1
		線形代数学Ⅱ	1後	2								2
		数学演習Ⅱ	1後	2								1
		統計数理	2前	2								1
	物理学	物理学Ⅰ	1前	2								1
		物理学Ⅱ	1後	2								1
		力学	1後	2								1
		統計熱力学	2前	2								1
量子力学		2後	2								1	
化学・ 生物学・ その他	化学Ⅰ	1前	2								1	
	生物学Ⅰ	1前	2								3	
	化学Ⅱ	1後	2								1	
	生物学Ⅱ	1後	2								3	
	新先端ファイブ科学	1後	2								11	
	図学	2後	2				2				0	
	インターンシップA	3前	1		1							
	インターンシップB	3前	2		1							
	生体機能論	3前	2								1	
	スポーツバイオメカニクス	4前	2								1	
環境化学	3後	2								2		
情報	情報リテラシー概論	1前	2						1			
	先端情報工学概論	3後		2							2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎科目	絵画実習	1前		1								2	
	アントレプレナーシップ概論	2前			2							1	
	知的財産	知的財産概論Ⅰ	2前			2							1
		特許法・実用新案法Ⅰ	2前			2							1
		民法概論Ⅰ	2前			2							1
		知的財産概論Ⅱ	2後			2							1
		特許法・実用新案法Ⅱ	2後			2							1
		民法概論Ⅱ	2後			2							1
		知的財産演習	3前			1							1
	複合材料	繊維科学概論	3後		1								1
		複合材料科学	3後		2								1
		先端複合材料学	3後		2								1
		複合材料基礎実験	3後		1								1
	複合材料ものづくり実験	4前		1								1	
	小計(34科目+5科目(地域創生))			0	55	17	1	2	0	1	0		40
	専門教育科目	基礎演習科目	デザイン・建築表現演習	1後		3		22	17	2	12	1	
			ソーシャルインタラクティブデザイン演習	1後		3		12	9	1	4	1	
		建築実習科目	建築設計実習Ⅰ	2前		4		10	8	0	7		0
			建築設計実習Ⅱ	2後		4		10	8	0	7		2
			建築設計実習Ⅲ	3前		4		10	8	0	7		2
			建築設計実習Ⅳ	3後		4		10	8	0	7		0
		デザイン実習科目(PBL)	プロジェクトデザインⅠ	2前		4		12	8	1	4	1	
			プロジェクトデザインⅡ	2後		4		12	8	1	4	1	
			プロジェクトデザインⅢ	3前		4		12	8	1	4	1	
プロジェクトデザインⅣ			3後		4		12	8	1	4	1		
建築理論科目		建築構造力学Ⅰ	1後		2		2	1	0	1			
		建築構造力学Ⅱ	2前		2		2	1	0	1		1	
		建築構造力学Ⅲ	2後		2		2	1	0	1		1	
		建築計画Ⅰ	2前		2		1	1					
		建築計画Ⅱ	2後		2		1	1	0				
		環境調整Ⅰ	2前		2			1					
		環境調整Ⅱ	2後		2			1					
		建築構造設計Ⅰ	2後		2		2	1	0	1		1	
		建築構造設計Ⅱ	3前		2		2	1	0	1			
		都市史Ⅰ	2後		2			1	0				
		都市史Ⅱ	3前		2	1							
		都市史Ⅲ	3後		2			2	0				
		建築構造	2前		2		3	2	0	1			
		西洋建築史	2前		2	1							
		日本建築史	2後		2	1	1			1			
		東洋建築史	3前		2			1					
		近代建築史	3前		2	2				1			
		造形材料	2後		2			1	0	1			
		建築職能論	3前		2		2	1		1		0	
		環境デザイン論	3前		2	1	2	0	1				
		景観論	3前		2	1							
		建築設備	3前		2							1	
		住環境計画	3後		2	1				2		1	
都市・建築遺産論		3後		2	1								
空気調整設備		3後		2							1		
建築生産		3後		2							1		
建築法規		3後		2							1		
デザイン理論科目		製品技術論	2前		2			1		1			
		視覚デザイン論	2前		2			1					
		コンピュータショナルデザイン	2前		2			1					
		ファシリティ計画論	2前		2	1				1			
		デザイン史	2前		2			1					
	映像デザイン論	2後		2		1	0						
	工業デザイン論	2後		2	1								
	室内意匠計画	3前		2	1								
	視覚形成論	3後		2	1								
デザイン方法論	3後		2	1									
芸術論科目	日本美術史	1前		2				1					
	西洋美術史	1後		2			1						
	感性論	2前		2			1						
	現代美術館学	2後		2	2				1				
	写真・映画論	3前		2		1			1				
庭園美学論	3前		2							1			

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
専 門 教 育 科 目	博物館概論	3前		2				1					
		3後		2		1	0						
	マネジメント論科目	企業経営学概論	1後		2		1	1					1
		マーケティング論	2前		2								
		プロジェクトマネジメント	2前		2		1						
		会計・財務基礎	2後		2		1						
		経営戦略論	3前		2		0	1					0
		事業企画論	3前		2								1
		ファシリティ経営論	3前		2								1
		デザインマネジメント	3後		2		1	0					
		市場参入論	3後		2			1					
		エンジニアリング論科目	資源環境論	1前		2							
	エンジニアリング概説		1後		2		2	2	1	1			
	ものづくりの統計学		1後		2			1					1
	生産工学		2前		2								1
	材料工学		2後		2								1
	人間情報科学		3前		2		1						
	感覚工学		3後		2		1	1	0				
	デザイン経営工学事例研究		3後		2								4
	スキルアップ演習科目	CAD/CG実習	2前		1		1			1			
		デザインプラクティスⅠ	2前		1		2	1		2			2
		デザインプラクティスⅡ	2後		1		2			2	0		3
		デザインプラクティスⅢ	3前		1		1			1			2
		デザインプラクティスⅣ	3後		1		1	1		1			
		情報処理演習	2後		2					1			
		建築環境工学演習	3前		1			1					
		建築構造材料実験	3前		1		2	1	0	1			
		建築測量演習	3前		1		1	3	0	5			
		建築計画演習	3後		2		1	3	0				
		伝統建築演習	3後		2		1	1		3			
		建築設計製図Ⅰ	2後		2		10	8	0	7			0
		建築設計製図Ⅱ	3前		2		10	8	0	7			0
		建築設計製図Ⅲ	3後		1		10	8	0	7			0
研究指導	デザイン・建築学演習	4前		6		22	17	2	12	1			
卒業研究	卒業研究	4通	8			22	17	2	12	1			
地域創生Tech Program	地域創生課題セミナーⅠ	3後	2									5	
	地域創生課題セミナーⅡ	4前		2								2	
	ものづくりインターンシップⅠ	3後	4									4	
	ものづくりインターンシップⅡ	4前		4								2	
	ものづくりインターンシップⅢ	4前		2								2	
	卒業プロジェクト	4通	8			22	17	2	12	1		1	
小計 (89科目+6科目(地域創生))			22	195	0	22	17	2	12	1		34	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教職に関する科目	現代教師論	1後			2							1
	教育原論	1前			2							1
	日本教育史	1前			2							1
	教育心理学	1後			2							1
	特別支援教育	1後			1							1
	教育社会学	1前			2							1
	教育課程論	1前			2							1
	工業教育法	2前-後			4							1
	道徳教育の理論と方法	1後			2							1
	特別活動論	1前			2							1
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	1前			2							1
	教育方法論	1後			2							1
	視聴覚教育概説	1後			2							1
	生徒指導	1前			2							1
	教育相談・進路指導論	1前			2							1
	教職実践演習(中・高)	4後			2							4
教育実習Ⅰ	4前			4							1	
教育実習Ⅱ	4前			2							1	
教育実習Ⅲ	4前			1							1	
職業指導Ⅰ	1前			2							1	
職業指導Ⅱ	1後			2							1	
小計(16科目)			0	0	32	0	0	0	0	0	0	12
学芸員資格取得のための授業科目	博物館概論	3前			2			1				
	博物館学Ⅰ	3前			2	2	0					
	博物館学Ⅱ	3後			2	1	1					
	文化財学	2前			2	1			1			
	文化財保存科学	3前			2							1
	教育学概論	3前			2							1
	博物館教育論	3後			1							1
	生涯学習概論	3前			2							1
	博物館情報・メディア論	3後			2		1					1
	博物館実習	4通			3	3	0		1			
	デザインマネジメント	3後			2	1	0					
	京の産業技術史	1前			2							1
小計(12科目)			0	0	24	3	3	1	2	0	5	
合計(310科目+11科目(地域創生))			33	513	73	22	17	2	12	1	286	

卒業要件及び履修方法

一般プログラム(デザイン)

英語必修6単位を含み言語教育科目から12単位以上、工芸科学教養科目の選択科目から10単位以上と基本教養科目の選択科目から6単位以上とを合わせて人間教養科目22単位以上、専門導入科目4単位、専門基礎科目の選択科目から6単位以上、課程専門科目の卒業研究8単位、選択科目から26単位以上(マネジメント論科目及びエンジニアリング論科目から、それぞれ2単位以上修得した上で合計8単位以上修得すること)を修得し、専門教育科目90単位以上及び合計134単位以上修得すること。

(履修科目の登録の上限:50単位(年間))

地域創生Tech Program(デザイン)

英語必修6単位を含み言語教育科目から12単位以上、工芸科学教養科目の選択科目から10単位以上と基本教養科目の選択科目から6単位以上とを合わせて人間教養科目22単位以上、専門導入科目5単位、専門基礎科目の選択科目から6単位以上、課程専門科目の必修科目6単位と卒業プロジェクト(8単位)の14単位、選択科目から26単位以上(マネジメント論科目及びエンジニアリング論科目から、それぞれ2単位以上修得した上で合計8単位以上修得すること)を修得し、専門教育科目90単位以上及び合計134単位以上修得すること。

(履修科目の登録の上限:50単位(年間))

一般プログラム(建築)

英語必修6単位を含み言語教育科目から12単位以上、工芸科学教養科目の選択科目から10単位以上と基本教養科目の選択科目から6単位以上とを合わせて人間教養科目22単位以上、専門導入科目4単位、専門基礎科目の選択科目から4単位以上、課程専門科目の卒業研究の8単位、選択科目から18単位以上を修得し、専門教育科目90単位以上及び合計134単位以上修得すること。

(履修科目の登録の上限:50単位(年間))

地域創生Tech Program(建築)

英語必修6単位を含み言語教育科目から12単位以上、工芸科学教養科目の選択科目から10単位以上と基本教養科目の選択科目から6単位以上とを合わせて人間教養科目22単位以上、専門導入科目5単位、専門基礎科目の選択科目から4単位以上、課程専門科目の必修科目6単位と卒業プロジェクト(8単位)の14単位、選択科目から18単位以上を修得し、専門教育科目90単位以上及び合計134単位以上修得すること。

(履修科目の登録の上限:50単位(年間))



- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・教育プログラムの見直しに伴い、「Career English Basic」の教員配置を「兼任・兼任8」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「Academic English」の教員配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「Career English Intermediate」の教員配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任8」に変更。
- ・教育プログラムの見直しに伴い、「Career English Advanced」の教員配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・教育プログラムの見直しに伴い、「Active English CLIL」の教員配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「Active English Listening & Speaking I」の教員配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「Active English Reading I」の教員配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・教育プログラムの見直しに伴い、「Active English Reading II」の教員配置を「兼任・兼任8」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・教育プログラムの見直しに伴い、「Active English Writing II」の教員配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教育プログラムの見直しに伴い、「中国語初級基礎A」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教育プログラムの見直しに伴い、「中国語初級基礎B」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・学域改組に伴い、「工芸科学基礎」の教員配置を「教授1、兼任・兼任3」から「教授1、兼任・兼任5」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国際理解」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育プログラムの見直しに伴い、「ものづくりと生命物質科学」の教員配置を「兼任・兼任14」から「兼任・兼任13」に変更。
- ・教育プログラムの見直しに伴い、「ものづくりと設計工学」の教員配置を「兼任・兼任10」から「兼任・兼任11」に変更。
- ・教育プログラムの見直しに伴い、「リーダーシップ基礎Ⅱ」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教育プログラムの見直しに伴い、「リーダーシップ実践Ⅰ」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国際連携プロジェクト」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・三大学教養教育共同化科目のため関係大学と協議により、「京の産業技術史」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「京のまち」の教員配置を「教授3、准教授1、講師1」から「教授2、准教授2、助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「法学」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「憲法」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教育プログラムの見直しに伴い、「現代社会とジェンダー」の教員配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教育プログラムの見直しに伴い、「人文地理学Ⅰ」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・三大学教養教育共同化科目のため関係大学と協議により、「医史学」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
- ・三大学教養教育共同化科目のため関係大学と協議により、「アメリカと中国はいま(リベラルアーツ・ゼミナール)」を「世界はいま(リベラルアーツ・ゼミナール)」に科目名変更。
- ・三大学教養教育共同化科目のため関係大学と協議により、「経営哲学(リベラルアーツ・ゼミナール)」の開講時期を「2前」から「2後」に変更。
- ・三大学教養教育共同化科目のため関係大学と協議により、「日本近現代文学」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
- ・三大学教養教育共同化科目のため関係大学と協議により、「現代社会に学ぶ問う力・書く力(リベラルアーツゼミナール)」の開講時期を「1前・後」から「1前」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「人と自然と物理学」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・教育プログラムの充実のため、「レーザーで測る、創る、楽しむ(リベラルアーツ・ゼミナール)」を新設。
- ・教育プログラムの充実のため、「京都の防災と府民」を新設。
- ・教育プログラムの見直しに伴い、「生涯スポーツ」の教員配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・担当教員を次年度以降に採用予定のため、「ソーシャルインタラクティブデザイン概論」「デザイン・建築基礎実習」「デザイン・建築表現演習」の教員配置を「教授22、准教授16、講師6、助教11、助手2」から「教授21、准教授13、講師5、助教11、助手2」に変更。
- ・担当教員の昇任等により、「ソーシャルインタラクティブデザイン演習」「プロジェクトデザインⅠ」「プロジェクトデザインⅡ」「プロジェクトデザインⅢ」「プロジェクトデザインⅣ」の教員配置を「教授11、准教授9、講師2、助教4、助手2」から「教授11、准教授8、講師2、助教4、助手2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「基礎解析Ⅰ」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「線形代数Ⅰ」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「数学演習Ⅰ」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育プログラムの見直しに伴い、「基礎力学」を「物理学Ⅰ」、「基礎電磁気学」を「物理学Ⅱ」に名称変更。
- ・担当教員の見直しにより、「環境化学」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育プログラムの見直しに伴い、「建築設計実習Ⅰ」の教員配置を「教授5、准教授3、講師1、助教5、兼任・兼任2」から「教授10、准教授6、講師2、助教7、兼任・兼任1」に変更。
- ・教育プログラムの見直しに伴い、「建築設計実習Ⅱ」の教員配置を「教授9、准教授4、講師2、助教5、兼任・兼任2」から「教授10、准教授6、講師2、助教7、兼任・兼任3」に変更。
- ・教育プログラムの見直しに伴い、「建築設計実習Ⅲ」の教員配置を「教授8、准教授3、講師2、助教4、兼任・兼任2」から「教授10、准教授6、講師2、助教7、兼任・兼任3」に変更。
- ・教育プログラムの見直し等に伴い、「建築設計実習Ⅳ」の教員配置を「教授11、准教授7、講師4、助教7」から「教授10、准教授6、講師2、助教7、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇任及び担当教員の見直しにより、「建築構造力学Ⅰ」の教員配置を「教授1・准教授1・講師1」から「教授1、講師1、助教1、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇任及び担当教員の見直しにより、「建築構造力学Ⅱ」「建築構造力学Ⅲ」の教員配置を「教授1・准教授1」から「教授1、講師1、助教1、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「建築計画Ⅰ」の教員配置を「教授1、准教授1」から「教授2、准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任及び担当教員の見直しにより、「建築計画Ⅱ」の教員配置を「准教授1、講師1」から「教授2、准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任及び担当教員の見直しにより、「建築構造設計学Ⅰ」の教員配置を「教授1、准教授1」から「教授1、講師1、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇任及び担当教員の見直しにより、「建築構造設計学Ⅱ」の教員配置を「准教授1、講師1」から「教授1、講師1、助教1」に変更。
- ・担当教員の昇任及び担当教員の見直しにより、「建築構造」の教員配置を「教授3、准教授2、講師1」から「教授2、准教授1、講師1、助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「近代建築史」の教員配置に「助教1」を追加。
- ・担当教員の見直しにより、「建築職能論」の教員配置を「教授3、准教授1、兼任・兼任1」から「教授2、准教授1、助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「環境デザイン論」の教員配置を「教授1、講師2、助教1」から「教授1、講師1、助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「ファシリティ計画論」の教員配置に「助教1」を追加。
- ・学生の教育効果を考慮し、「デザイン史」の開講時期を「2前」から「2後」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「映像デザイン論」の教員配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「経営戦略論」の教員配置を「准教授1」から「兼任・兼任1」を追加。
- ・担当教員の見直しにより、「エンジニアリング概説」の教員配置に「講師1」を追加。
- ・担当教員の昇任及び担当教員の見直しにより、「建築構造材料実験」の教員配置を「教授1、准教授1、講師1、助教1」から「教授1、講師1、助教1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「建築測量演習」の教員配置を「准教授4、講師1、助教4」から「教授1、准教授4、助教4」に変更。
- ・担当教員の昇任及び担当教員の就任辞退による見直しにより、「建築計画演習」の教員配置を「教授1、准教授2、講師1」から「教授2、准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「伝統建築演習」の教員配置に「助教1」を追加。
- ・設置計画書の記載漏れを修正し、「建築設計製図Ⅰ」「建築設計製図Ⅱ」「建築設計製図Ⅲ」の教員配置を「教授10、准教授6、講師2、助教7、兼任・兼任1」とする。

- ・担当教員を次年度以降に採用予定のため、「デザイン・建築学演習」「卒業研究」「卒業プロジェクト」の教員配置を「教授22、准教授16、講師6、助教11」から「教授21、准教授13、講師5、助教11、助手2」に変更。
- ・教職課程認定申請において文部科学省と相談のうえ、「日本教育史」を「教育原論」に統合。
- ・教職課程認定申請において指摘を受けたため、「教育相談論」を「教育相談・進路指導論」に科目名変更。
- ・担当教員の見直しにより、「博物館学Ⅰ」の教員配置を「教授2」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「博物館学Ⅰ」「博物館学Ⅱ」の教員配置を「准教授2」から「教授1、准教授1」に変更。

【令和元年度】

- ・授業内容、分担の見直しにより、「Career English Advanced」の教員配置を「兼5」から「兼6」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「Active English Reading I」の教員配置を「兼5」から「兼3」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「Active English Reading II」の教員配置を「兼3」から「兼2」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「KITスタンダード」の教員配置を「教授1、兼5」から「兼10」に変更。
- ・教育プログラムの見直しにより、「エネルギー科学」の科目区分を「人と自然」から「科学技術と環境・倫理」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「ものづくりと設計工学」の教員配置を「兼11」から「兼12」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「伝統産業概論I」の教員配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「伝統産業概論II」の教員配置を「兼8」から「兼3」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「実践ユニバーサルデザイン」の教員配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「リーダーシップ基礎Iー地域連携プロジェクト」の教員配置を「助教1、兼10」から「准教授1、助教1、兼8」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「リーダーシップ実践I」の教員配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・担当教員の採用により、「リーダーシップ実践II」の教員配置を「兼2」から「准教授1、兼1」に変更。
- ・「国際連携プロジェクトII」を新設したことにより、従来の「国際連携プロジェクトI」を「国際連携プロジェクトI」に名称変更。
- ・三大学教養教育共同化科目のため、提供元の事情により、「京都学・歴史館ゼミ（リベラルアーツ・ゼミナール）」の科目名称を「資料で親しむ京都学（リベラルアーツ・ゼミナール）」に変更。
- ・三大学教養教育共同化科目のため、提供元の事情により、「食環境をめぐる国際社会と日本」の科目名称を「食環境をめぐる国際社会と日本α」に変更、開講時期を「1前」から「1後」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「意外と知らない植物の世界」の教員配置を「教授1、講師1、兼3」から「講師1、助教1、兼3」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「京都の防災と府民」の教員配置を「兼1」から「教授1、准教授1、兼1」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任、新規採用による授業内容、分担の見直しにより、「ソーシャルインタラクションデザイン概論」の教員配置を「教授21、准教授13、講師5、助教11、助手2」から「教授20、准教授18、講師2、助教11、助手2」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任、新規採用による授業内容、分担の見直しにより、「デザイン・建築基礎実習」の教員配置を「教授21、准教授13、講師5、助教11、助手2」から「教授20、准教授18、講師2、助教11、助手2」に変更。
- ・地域創生Tech Programコースに対する福知山キャンパスでの開講科目を充実させるため、「先端情報工学概論」を新設。
- ・福知山キャンパスにおいて開講する科目であったが、幅広く一般プログラムの学生にも受講可能とするため、「知的財産演習」の開講時期を「3後」から「3前」に変更し、松ヶ崎キャンパスにおいて開講。
- ・担当教員の退職、昇任、新規採用による授業内容、分担の見直しにより、「デザイン・建築表現演習」の教員配置を「教授21、准教授13、講師5、助教11、助手2」から「教授20、准教授18、講師2、助教11、助手2」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任、新規採用による授業内容、分担の見直しにより、「ソーシャルインタラクションデザイン演習」の教員配置を「教授11、准教授8、講師2、助教4、助手2」から「教授10、准教授11、講師1、助教4、助手2」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任、新規採用による授業内容、分担の見直しにより、「建築設計実習I」の教員配置を「教授10、准教授6、講師2、助教7、兼1」から「教授10、准教授7、講師1、助教7」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任、新規採用による授業内容、分担の見直しにより、「建築設計実習II」の教員配置を「教授10、准教授6、講師2、助教7、兼3」から「教授10、准教授7、講師1、助教7、兼2」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任、新規採用による授業内容、分担の見直しにより、「建築設計実習III」の教員配置を「教授10、准教授6、講師2、助教7、兼3」から「教授10、准教授7、講師1、助教7、兼2」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任、新規採用による授業内容、分担の見直しにより、「建築設計実習IV」の教員配置を「教授10、准教授6、講師2、助教7、兼1」から「教授10、准教授7、講師1、助教7」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任、新規採用による授業内容、分担の見直しにより、「プロジェクトデザインI」の教員配置を「教授11、准教授8、講師2、助教4、助手2」から「教授10、准教授11、講師1、助教4、助手2」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任、新規採用による授業内容、分担の見直しにより、「プロジェクトデザインII」の教員配置を「教授11、准教授8、講師2、助教4、助手2」から「教授10、准教授11、講師1、助教4、助手2」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任、新規採用による授業内容、分担の見直しにより、「プロジェクトデザインIII」の教員配置を「教授11、准教授8、講師2、助教4、助手2」から「教授10、准教授11、講師1、助教4、助手2」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任、新規採用による授業内容、分担の見直しにより、「プロジェクトデザインIV」の教員配置を「教授11、准教授8、講師2、助教4、助手2」から「教授10、准教授11、講師1、助教4、助手2」に変更。
- ・担当教員の昇任、採用による授業内容、分担の見直しにより、「建築構造力学I」の教員配置を「教授1、講師1、助教1、兼1」から「教授2、准教授1、助教1」に変更。
- ・担当教員の昇任、採用による授業内容、分担の見直しにより、「建築構造力学II」の教員配置を「教授1、講師1、助教1、兼1」から「教授2、准教授1、助教1、兼1」に変更。
- ・担当教員の昇任、採用により、「建築構造力学III」の教員配置を「教授1、講師1、助教1、兼1」から「教授2、准教授1、助教1、兼1」に変更。
- ・担当教員の退職による授業内容、分担の見直しにより、「建築計画I」の教員配置を「教授2、准教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・担当教員の退職による授業内容、分担の見直しにより、「建築計画II」の教員配置を「教授2、准教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任、採用による授業内容、分担の見直しにより、「建築構造設計学I」の教員配置を「教授1、講師1、兼1」から「教授2、准教授1、助教1、兼1」に変更。
- ・担当教員の昇任、採用による授業内容、分担の見直しにより、「建築構造設計学II」の教員配置を「教授1、講師1、助教1」から「教授2、准教授1、助教1」に変更。
- ・担当教員の昇任、採用による授業内容、分担の見直しにより、「建築構造」の教員配置を「教授2、准教授1、講師1、助教1」から「教授3、准教授2、助教1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「造形材料」の教員配置を「講師1、助教1」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・担当教員の採用により、「環境デザイン論」の教員配置を「教授1、講師1、助教1」から「教授1、准教授1、講師1、助教1」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「住環境計画」の教員配置を「教授1」から「教授1、兼1」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「製品技術論」の教員配置を「准教授1」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任による授業内容、分担の見直しにより、「エンジニアリング概説」の教員配置を「教授3、講師1、助教1」から「教授2、准教授1、助教1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「感覚工学」の教員配置を「教授1、講師1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「デザインプラクティスI」の教員配置を「教授1、准教授1、助教2、兼2」から「教授2、准教授1、助教2、兼2」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「デザインプラクティスII」の教員配置を「教授2、助教1、助手1」から「教授2、助教2、兼3」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「デザインプラクティスIII」の教員配置を「兼1」から「教授1、助教1、兼3」に変更。
- ・担当教員の昇任、採用により、「建築構造材料実験」の教員配置を「教授1、講師1、助教1」から「教授2、准教授1、助教1」に変更。
- ・担当教員の退職による授業内容、分担の見直しにより、「建築測量演習」の教員配置を「教授1、准教授4、助教4」から「教授1、准教授3、助教5」に変更。
- ・担当教員の退職による授業内容、分担の見直しにより、「建築計画演習」の教員配置を「教授2、准教授1」から「教授1、准教授3」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任、新規採用による授業内容、分担の見直しにより、「建築設計製図I」の教員配置を「教授10、准教授6、講師2、助教7、兼1」から「教授10、准教授7、講師1、助教7」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任、新規採用による授業内容、分担の見直しにより、「建築設計製図II」の教員配置を「教授10、准教授6、講師2、助教7、兼1」から「教授10、准教授7、講師1、助教7」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任、新規採用による授業内容、分担の見直しにより、「建築設計製図III」の教員配置を「教授10、准教授6、講師2、助教7、兼1」から「教授10、准教授7、講師1、助教7」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任、新規採用による授業内容、分担の見直しにより、「デザイン・建築学演習」の教員配置を「教授21、准教授13、講師5、助教11、助手2」から「教授20、准教授18、講師2、助教11、助手2」に変更。
- ・担当教員の退職、昇任、新規採用による授業内容、分担の見直しにより、「卒業研究」の教員配置を「教授21、准教授13、講師5、助教11、助手2」から「教授20、准教授18、講師2、助教11、助手2」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「地域創生課題セミナーI」の教員配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・「ものづくりインターシップII」は海外実習2週間及び国内実習2週間というプログラムであるが、海外実習2週間のみというプログラムを提供するため、「ものづくりインターシップIII」（海外実習2週間のみ）を新設。
- ・担当教員の退職、昇任、新規採用による授業内容、分担の見直しにより、「卒業プロジェクト」の教員配置を「教授21、准教授13、講師5、助教11、助手2」から「教授20、准教授18、講師2、助教11、助手2、兼1」に変更。
- ・教職課程認定申請において文部科学省と相談のうえ科目内容の見直しを行い、「教育心理学」の単位数を「2」から「1」に変更。
- ・教職課程認定申請において、新たに科目の設置が必要となる区分ができたために、文部科学省と相談のうえ「特別支援教育」を新設。
- ・教職課程認定申請において、新たに科目の設置が必要となる区分ができたために、文部科学省と相談のうえ、「特別活動及び総合的な学習の時間の指導法」を新設。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「博物館学I」の教員配置を「教授1、准教授1」から「教授2」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「博物館学II」の教員配置を「教授1、准教授1」から「准教授2」に変更。

【令和2年度】

- ・授業内容、分担の見直しにより、「Career English Intermediate」の教員配置を「兼8」から「兼5」に変更。
- ・教育プログラムの見直しにより、「Career English Intermediate」の配当年次を「2前・後」から「2前・後・3前」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「Career English Advanced」の教員配置を「兼6」から「兼5」に変更。
- ・教育プログラムの見直しにより、「Career English Advanced」の配当年次を「2前・後」から「2前・後・3前」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「Active English Listening & Speaking I」の教員配置を「兼7」から「兼6」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「Active English Listening & Speaking II」の教員配置を「兼4」から「兼3」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「Active English Reading I」の教員配置を「兼3」から「兼4」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「Active English Reading II」の教員配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・教育プログラムの見直しにより、「Active English Reading II」の配当年次を「2前・後」から「2前」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「Active English Project-Based Learning」の教員配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「ドイツ語上級A」の教員配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「ドイツ語上級B」の教員配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「キャリア教育基礎」の教員配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「地球環境論」の教員配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「環境マネジメント」の教員配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・担当教員の退職による授業内容、分担の見直しにより、「伝統産業概論Ⅰ」の教員配置を「兼3」から「兼2」に変更。
- ・担当教員の退職による授業内容、分担の見直しにより、「伝統産業概論Ⅱ」の教員配置を「兼3」から「兼2」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「ものづくり加工実習」の教員配置を「兼3」から「兼2」に変更。
- ・「リーダーシップ基礎Ⅰ-地域連携プロジェクト」の一部分を単独科目として独立させ教育プログラムの充実を図るため、科目名称を「リーダーシップ基礎Ⅰ」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、分担の見直しにより、「リーダーシップ基礎Ⅰ」の教員配置を「准教授1、助教1、兼8」から「助教1、兼8」に変更。
- ・教育プログラムの充実のため、「SDGsをまなぶ」を新設。
- ・教育プログラムの見直しにより、「リーダーシップ実践Ⅱ」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「リーダーシップ実践Ⅱ」の教員配置を「准教授1、兼1」から「兼1」に変更。
- ・「リーダーシップ基礎Ⅰ-地域連携プロジェクト」の一部分を単独科目として独立させ教育プログラムの充実を図るため、「地域連携プロジェクト」を新設。
- ・教育プログラムの見直しにより、「京の文化行政」の科目名称を「文化芸術都市としての京都」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「文化財学」の教員配置を「教授2」から「教授1、助教1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「京の伝統工芸-技と美」の教員配置を「教授1、准教授1」から「教授2」に変更。
- ・三大学教養教育共同化科目のため関係大学と協議により、「京の産業技術史」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。
- ・三大学教養教育共同化科目のため関係大学と協議により、「京都の自然と森林」の科目名称を「京都の自然」に変更。
- ・三大学教養教育共同化科目のため、提供元の事情により、「京都の自然」の教員配置を「兼4」から「兼1」に変更。
- ・教育プログラムの充実のため、「京都の文化と文化財」を新設。
- ・教育プログラムの充実のため、「観光学α」を新設。
- ・教育プログラムの充実のため、「認知心理学」を新設。
- ・教育プログラムの充実のため、「現代正義論(リベラルアーツ・ゼミナール)」を新設。
- ・三大学教養教育共同化科目のため関係大学と協議により、「哲学」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。
- ・三大学教養教育共同化科目のため関係大学と協議により、「日本近代精神史」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
- ・三大学教養教育共同化科目のため関係大学と協議により、「日本史」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
- ・三大学教養教育共同化科目のため関係大学と協議により、「アジアの歴史と文化」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
- ・三大学教養教育共同化科目のため関係大学と協議により、「ヨーロッパの歴史と文化」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。
- ・三大学教養教育共同化科目のため関係大学と協議により、「科学史」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「食と健康の科学」の教員配置を「兼4」から「兼1」に変更。
- ・教育プログラムの充実のため、「医療人類学」を新設。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「意外と知らない植物の世界」の教員配置を「講師1、助教1、兼3」から「講師1、兼1」に変更。
- ・三大学教養教育共同化科目のため関係大学と協議により、「製品の機能から科学を学ぶ(リベラルアーツ・ゼミナール)」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。
- ・担当教員の昇任、採用、配置換えによる授業内容、分担の見直しにより、「ソーシャルインタラクションデザイン概論」の教員配置を「教授20、准教授18、講師2、助教11、助手2」から「教授22、准教授17、講師2、助教12、助手1」に変更。
- ・担当教員の昇任、採用、配置換えによる授業内容、分担の見直しにより、「デザイン・建築基礎実習」の教員配置を「教授20、准教授18、講師2、助教11、助手2」から「教授22、准教授17、講師2、助教12、助手1」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「線形代数学Ⅱ」の教員配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「生物学Ⅰ」の教員配置を「兼4」から「兼3」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「生物学Ⅱ」の教員配置を「兼4」から「兼3」に変更。
- ・担当教員の退職による授業内容、分担の見直しにより、「新先端ファイブ科学」の教員配置を「兼12」から「兼11」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「図学」の教員配置を「兼1」から「准教授2」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「先端情報工学概論」の教員配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・担当教員の昇任、採用、配置換えによる授業内容、分担の見直しにより、「デザイン・建築表現演習」の教員配置を「教授20、准教授18、講師2、助教11、助手2」から「教授22、准教授17、講師2、助教12、助手1」に変更。
- ・担当教員の昇任による分担の見直しにより、「ソーシャルインタラクションデザイン演習」の教員配置を「教授10、准教授11、講師1、助教4、助手2」から「教授12、准教授9、講師1、助教4、助手1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「建築設計実習Ⅰ」の教員配置を「教授10、准教授7、講師1、助教7」から「教授10、准教授8、助教7」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「建築設計実習Ⅱ」の教員配置を「教授10、准教授7、講師1、助教7、兼2」から「教授10、准教授8、助教7、兼2」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「建築設計実習Ⅲ」の教員配置を「教授10、准教授7、講師1、助教7、兼2」から「教授10、准教授8、助教7、兼2」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「建築設計実習Ⅳ」の教員配置を「教授10、准教授7、講師1、助教7」から「教授10、准教授8、助教7」に変更。
- ・担当教員の昇任による分担の見直しにより、「プロジェクトデザインⅠ」の教員配置を「教授10、准教授11、講師1、助教4、助手2」から「教授12、准教授8、講師1、助教4、助手1」に変更。
- ・担当教員の昇任による分担の見直しにより、「プロジェクトデザインⅡ」の教員配置を「教授10、准教授11、講師1、助教4、助手2」から「教授12、准教授8、講師1、助教4、助手1」に変更。
- ・担当教員の昇任による分担の見直しにより、「プロジェクトデザインⅢ」の教員配置を「教授10、准教授11、講師1、助教4、助手2」から「教授12、准教授8、講師1、助教4、助手1」に変更。
- ・担当教員の昇任による分担の見直しにより、「プロジェクトデザインⅣ」の教員配置を「教授10、准教授11、講師1、助教4、助手2」から「教授12、准教授8、講師1、助教4、助手1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「都市史Ⅲ」の教員配置を「准教授1、講師1」から「准教授2」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「日本建築史」の教員配置を「教授1、准教授1」から「教授1、准教授1、助教1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「環境デザイン論」の教員配置を「教授1、准教授1、講師1、助教1」から「教授1、准教授2、助教1」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「都市・建築遺産論」の教員配置を「教授1、助教1」から「教授1、助教2」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「現代芸術論」の教員配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「経営戦略論」の教員配置を「准教授1、兼1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「デザインマネジメント」の教員配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「エンジニアリング概説」の教員配置を「教授2、准教授1、助教1」から「教授2、准教授2、講師1、助教

- 1」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「デザインプラクティスⅢ」の教員配置を「教授1、助教1、兼3」から「教授1、助教1、兼2」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「伝統建築演習」の教員配置を「教授1、准教授1、助教2」から「教授1、准教授1、助教3」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「建築設計製図Ⅰ」の教員配置を「教授10、准教授7、講師1、助教7」から「教授10、准教授8、助教7」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「建築設計製図Ⅱ」の教員配置を「教授10、准教授7、講師1、助教7」から「教授10、准教授8、助教7」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「建築設計製図Ⅲ」の教員配置を「教授10、准教授7、講師1、助教7」から「教授10、准教授8、助教7」に変更。
- ・担当教員の昇任、採用、配置換えによる授業内容、分担の見直しにより、「デザイン・建築学演習」の教員配置を「教授20、准教授18、講師2、助教11、助手2」から「教授22、准教授17、講師2、助教12、助手1」に変更。
- ・担当教員の昇任、採用、配置換えによる授業内容、分担の見直しにより、「卒業研究」の教員配置を「教授20、准教授18、講師2、助教11、助手2」から「教授22、准教授17、講師2、助教12、助手1」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「地域創生課題セミナーⅠ」の教員配置を「兼3」から「兼5」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「ものづくりインターンシップⅠ」の教員配置を「兼2」から「兼4」に変更。
- ・担当教員の昇任、採用、配置換えによる授業内容、分担の見直しにより、「卒業プロジェクト」の教員配置を「教授20、准教授18、講師2、助教11、助手2」から「教授22、准教授17、講師2、助教12、助手1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「博物館学Ⅱ」の教員配置を「准教授2」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「文化財学」の教員配置を「教授2」から「教授1、助教1」に変更。
- ・担当教員の昇任による分担の見直しにより、「博物館実習」の教員配置を「教授2、准教授1」から「教授3、助教1」に変更。
- ・学芸員取得のための授業科目としても開講しているが、三大学教養教育共同化科目のため関係大学と協議により、「京の産業技術史」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。

【令和3年度】

- ・授業内容、分担の見直しにより、「中国語中級A」の教員配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「中国語中級B」の教員配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「SDGsをまなぶ」の教員配置を「兼3」から「兼4」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「京の伝統工芸-技と美」の教員配置を「教授2、兼7」から「教授2、兼6」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「京の意匠」の教員配置を「教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・担当教員の定年退職による授業内容、分担の見直しにより、「京のまち」の教員配置を「教授2、准教授2、助教1」から「教授1、准教授2、助教1」に変更。
- ・三大学教養教育共同化科目のため、提供元の事情により、「京都の歴史Ⅰ」の教員配置を「兼3」から「兼1」に変更。
- ・三大学教養教育共同化科目のため、提供元の事情により、「京都の歴史Ⅱ」の教員配置を「兼3」から「兼1」に変更。
- ・三大学教養教育共同化科目のため、提供元の事情により、「京都の農林業」の教員配置を「兼8」から「兼1」に変更。
- ・三大学教養教育共同化科目のため、提供元の事情により、「近代京都と三大学」の教員配置を「教授1、兼4」から「兼1」に変更。
- ・教育プログラムの充実のため、「医療と社会」を新設。
- ・教育プログラムの充実のため、「現代医療の人間観」を新設。
- ・三大学教養教育共同化科目のため、提供元の事情により、「認知心理学」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。
- ・三大学教養教育共同化科目のため、提供元の事情により、「哲学」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
- ・三大学教養教育共同化科目のため関係大学と協議により、「日本近代精神史」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「美と芸術」の教員配置を「准教授1」から「兼1」に変更。
- ・三大学教養教育共同化科目のため、提供元の事情により、「生命科学講話」の教員配置を「兼15」から「兼1」に変更。
- ・三大学教養教育共同化科目のため関係大学と協議により、「意外と知らない植物の世界」の教員配置を「講師1、兼1」から「准教授1、兼0」に変更。
- ・担当教員の昇任、採用、配置換え、定年退職、退職による授業内容、分担の見直しにより、「ソーシャルインタラクショナルデザイン概論」の教員配置を「教授22、准教授17、講師2、助教12、助教2」から「教授24、准教授19、講師1、助教9、助手2」に変更。
- ・担当教員の昇任、採用、配置換え、定年退職、退職による授業内容、分担の見直しにより、「デザイン・建築基礎実習」の教員配置を「教授22、准教授17、講師2、助教12、助手2」から「教授24、准教授19、講師1、助教9、助手2」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「地域課題導入セミナー」の教員配置を「兼3」から「兼5」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「新先端ファイブ科学」の教員配置を「兼11」から「兼9」に変更。
- ・担当教員の定年退職による授業内容、分担の見直しにより、「図学」の教員配置を「准教授2」から「准教授1、兼1」に変更。
- ・教育プログラムの見直しにより、「スポーツバイオメカニクス」の開講時期を「4前」から「2前」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「環境化学」の教員配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・担当教員の昇任、採用、配置換え、定年退職、退職による授業内容、分担の見直しにより、「デザイン・建築表現実習」の教員配置を「教授22、准教授17、講師2、助教12、助手2」から「教授24、准教授19、講師1、助教9、助手2」に変更。
- ・担当教員の昇任、定年退職、退職による授業内容、分担の見直しにより、「ソーシャルインタラクショナルデザイン演習」の教員配置を「教授12、准教授9、講師1、助教4、助手1」から「教授10、准教授7、助教3、助手1」に変更。
- ・担当教員の昇任、定年退職、退職による授業内容、分担の見直しにより、「建築設計実習Ⅰ」の教員配置を「教授10、准教授8、助教7」から「教授9、准教授9、助教5」に変更。
- ・担当教員の昇任、定年退職、退職による授業内容、分担の見直しにより、「建築設計実習Ⅱ」の教員配置を「教授10、准教授8、助教7、兼2」から「教授9、准教授9、助教5、兼2」に変更。
- ・担当教員の昇任、定年退職、退職による授業内容、分担の見直しにより、「建築設計実習Ⅲ」の教員配置を「教授10、准教授8、助教7、兼2」から「教授9、准教授9、助教5、兼2」に変更。
- ・担当教員の昇任、定年退職、退職による授業内容、分担の見直しにより、「建築設計実習Ⅳ」の教員配置を「教授10、准教授8、助教7」から「教授9、准教授9、助教5」に変更。
- ・担当教員の昇任、退職による授業内容、分担の見直しにより、「プロジェクトデザインⅠ」の教員配置を「教授12、准教授8、講師1、助教4、助手1」から「教授10、准教授7、助教3、助手1」に変更。
- ・担当教員の昇任、退職による授業内容、分担の見直しにより、「プロジェクトデザインⅡ」の教員配置を「教授12、准教授8、講師1、助教4、助手1」から「教授10、准教授7、助教3、助手1」に変更。
- ・担当教員の昇任、退職による授業内容、分担の見直しにより、「プロジェクトデザインⅢ」の教員配置を「教授12、准教授8、講師1、助教4、助手1」から「教授10、准教授7、助教3、助手1」に変更。
- ・担当教員の昇任、退職による授業内容、分担の見直しにより、「プロジェクトデザインⅣ」の教員配置を「教授12、准教授8、講師1、助教4、助手1」から「教授10、准教授7、助教3、助手1」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「都市史Ⅰ」の教員配置を「准教授1」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「都市史Ⅱ」の教員配置を「教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任による授業内容、分担の見直しにより、「建築構造」の教員配置を「教授3、准教授2、助教1」から「教授4、准教授1、助教1」に変更。
- ・担当教員の昇任、退職による授業内容、分担の見直しにより、「建築職能論」の教員配置を「教授2、准教授1、助教1」から「教授2、准教授1」に変更。
- ・担当教員の定年退職による授業内容、分担の見直しにより、「景観論」の教員配置を「教授1」から「教授1、准教授2」に変更。
- ・担当教員の退職による授業内容、分担の見直しにより、「製品技術論」の教員配置を「准教授1、助教1」から「助教1、兼1」に変更。
- ・担当教員の定年退職による授業内容、分担の見直しにより、「コンピュータグラフィカルデザイン」の教員配置を「准教授1」から「兼1」に変更。
- ・担当教員の昇任による授業内容、分担の見直しにより、「日本美術史」の教員配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の定年退職による授業内容、分担の見直しにより、「現代美術館学」の教員配置を「教授2、助教1」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の退職による授業内容、分担の見直しにより、「写真・映画論」の教員配置を「准教授1、助手1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任による授業内容、分担の見直しにより、「博物館概論」の教員配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の退職による授業内容、分担の見直しにより、「企業経営学概論」の教員配置を「教授1、准教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の退職による授業内容、分担の見直しにより、「プロジェクトマネジメント」の教員配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・教育プログラムの見直しにより、「プロジェクトマネジメント」の開講時期を「2前」から「2後」に変更。
- ・担当教員の退職による授業内容、分担の見直しにより、「会計・財務基礎」の教員配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・担当教員の退職による授業内容、分担の見直しにより、「デザインプラクティスⅠ」の教員配置を「教授2、准教授1、助教2、兼2」から「教授1、准教授1、助教1、兼3」に変更。
- ・担当教員の退職による授業内容、分担の見直しにより、「デザインプラクティスⅢ」の教員配置を「教授1、助教1、兼2」から「兼3」に変更。
- ・担当教員の退職による授業内容、分担の見直しにより、「デザインプラクティスⅣ」の教員配置を「教授1、准教授1、助教1」から「教授1、准教授1、兼1」に変更。
- ・担当教員の昇任による授業内容、分担の見直しにより、「建築測量演習」の教員配置を「教授1、准教授3、助教5」から「教授2、准教授4、助教4」に変更。
- ・担当教員の昇任による授業内容、分担の見直しにより、「建築計画演習」の教員配置を「教授1、准教授3」から「教授2、准教授2」に変更。
- ・担当教員の昇任による授業内容、分担の見直しにより、「伝統建築演習」の教員配置を「教授1、准教授1、助教3」から「教授1、准教授2、助教2」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「建築設計製図Ⅰ」の教員配置を「教授10、准教授8、助教7」から「教授1」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「建築設計製図Ⅱ」の教員配置を「教授10、准教授8、助教7」から「教授1」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「建築設計製図Ⅲ」の教員配置を「教授10、准教授8、助教7」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任、採用、配置換え、定年退職、退職による授業内容、分担の見直しにより、「デザイン・建築学演習」の教員配置を「教授22、准教授17、講師2、助教12、助手2」から「教授24、准教授19、講師1、助教9、助手2」に変更。
- ・担当教員の昇任、採用、配置換え、定年退職、退職による授業内容、分担の見直しにより、「卒業研究」の教員配置を「教授22、准教授17、講師2、助教12、助手2」から「教授24、准教授19、講師1、助教9、助手2」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「地域創生課題セミナーⅠ」の教員配置を「兼5」から「兼7」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「地域創生課題セミナーⅡ」の教員配置を「兼2」から「兼4」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「ものづくりインターンシップⅠ」の教員配置を「兼4」から「兼6」に変更。
- ・授業内容、分担の見直しにより、「ものづくりインターンシップⅡ」の教員配置を「兼2」から「兼4」に変更。

- ・ 授業内容、分担の見直しにより、「ものづくりインターンシップⅢ」の教員配置を「兼2」から「兼4」に変更。
- ・ 担当教員の昇任、採用、配置換え、定年退職、退職による授業内容、分担の見直しにより、「卒業プロジェクト」の教員配置を「教授22、准教授17、講師2、助教12、助手2、兼1」から「教授24、准教授19、講師1、助教9、助手2、兼1」に変更。
- ・ 担当教員の昇任による授業内容、分担の見直しにより、「博物館概論」の教員配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・ 授業内容、分担の見直しにより、「博物館学Ⅱ」の教員配置を「教授1、准教授1」から「准教授1、兼1」に変更。
- ・ 授業内容、分担の見直しにより、「博物館実習」の教員配置を「教授3、助教1」から「教授2、助教1」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
13 科目	271 科目	39 科目	323 科目	13 科目 [ 0 ]	270 科目 [ Δ1 ]	37 科目 [ Δ2 ]	320 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)



### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	日本教育史	2	1前	一般	選択	教職課程認定申請において文部科学省と相談のうえ「教育原論」に科目を統合した。
2	環境論	2	1後	一般	選択	三大学教養教育共同化科目のため、提供元（京都三大学教養教育研究・推進機構）の事情により廃止となった。
3	産学連携ものづくり実践	4	3前	一般	選択	企業等とマッチングの結果、他のPBL科目に本科目の内容を含め開講することとなった。
4	現代社会と映画製作（リベラルアーツ・ゼミナール）	1	1前	一般	選択	三大学教養教育共同化科目のため、提供元（京都三大学教養教育研究・推進機構）の事情により廃止となった。
5	工業教育法	4	2前・後	一般	選択	工業の教員免許については、文部科学省に再課程認定の申請を行わないこととしたため、廃止することとした。
6	特別活動論	2	1前	一般	選択	教職課程認定申請において文部科学省と相談のうえ、本科目を廃止して「特別活動及び総合的な学習の時間の指導法」を新設することとした。
7	職業指導Ⅰ	2	1前	一般	選択	工業の教員免許については、文部科学省に再課程認定の申請を行わないこととしたため、廃止することとした。
8	職業指導Ⅱ	2	1後	一般	選択	工業の教員免許については、文部科学省に再課程認定の申請を行わないこととしたため、廃止することとした。
9	実践ユニバーサルデザイン	2	1前	一般	選択	カリキュラムの充実を図るため科目内容の見直しを行い、新しい科目を新設した。

10	京のサステイナブルデザイン	2	2前	一般	選択	カリキュラムの充実を図るため科目内容の見直しを行い、新しい科目を新設した。
11	京野菜を栽培する（リベラルアーツ・ゼミナール）	1	1前	一般	選択	三大学教養教育共同化科目のため、提供元（京都三大学教養教育研究・推進機構）の事情により廃止となった。（新設の代替科目あり）
12	食環境をめぐる国際社会と日本α	2	1後	一般	選択	三大学教養教育共同化科目のため、提供元（京都三大学教養教育研究・推進機構）の事情により廃止となった。（新設の代替科目あり）
13	医史学	2	1後	一般	選択	三大学教養教育共同化科目のため、提供元（京都三大学教養教育研究・推進機構）の事情により廃止となった。（新設の代替科目あり）
14	日本文学Ⅰ	2	1前	一般	選択	三大学教養教育共同化科目のため、提供元（京都三大学教養教育研究・推進機構）の事情により廃止となった。（新設の代替科目あり）
15	日本文学Ⅱ	2	1後	一般	選択	三大学教養教育共同化科目のため、提供元（京都三大学教養教育研究・推進機構）の事情により廃止となった。（新設の代替科目あり）
16	人文地理学Ⅰ	2	1前	一般	選択	三大学教養教育共同化科目のため、提供元（京都三大学教養教育研究・推進機構）の事情により廃止となった。（新設の代替科目あり）
17	人文地理学Ⅱ	2	1後	一般	選択	三大学教養教育共同化科目のため、提供元（京都三大学教養教育研究・推進機構）の事情により廃止となった。（新設の代替科目あり）
18	伝統産業概論Ⅰ	2	1前	一般	選択	担当教員が一身上の都合により退職したため、未開講とした。適任の講師の確保が困難であること、また全学的な教養科目の見直しを行う中で廃止することとなった。
19	伝統産業概論Ⅱ	2	1後	一般	選択	担当教員が一身上の都合により退職したため、未開講とした。適任の講師の確保が困難であること、また全学的な教養科目の見直しを行う中で廃止することとなった。
20	科学と思想（リベラルアーツ・ゼミナール）	2	1後	一般	選択	三大学教養教育共同化科目のため、提供元（京都三大学教養教育研究・推進機構）の事情により廃止となった。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止科目の科目番号1及び6は、教職課程認定申請において、文部科学省と相談の上、科目の統合または新設をしたことにより、従前の科目を廃止することとした。

廃止科目の科目番号5、7及び8は、工業の教職課程認定を受けている他大学を調査したところ、デザインや建築以外の分野（機械、設計、電気、電子、材料、化学など）に関する専門科目を設置する必要があるということが判明し、デザイン・建築学課程の専門科目だけでは申請要件を満たさない可能性が高いことが判明したため、申請を行わず科目を廃止することとした。

他の科目は、教育プログラムの見直しにより廃止とした。ただし、新たな科目も設置しており、学生へ提供する教育プログラムは設置時と同等に充実した状態を維持している。

科目の変更等については履修要項（冊子）及びHPにより学生に周知を行っている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{20}{323} = \boxed{6.19}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)		
	校 舎 敷 地	132,505㎡	㎡	㎡	132,505㎡			
	運 動 場 用 地	18,658㎡	㎡	㎡	18,658㎡			
	小 計	151,163㎡	㎡	㎡	151,163㎡			
	そ の 他	62,240㎡	㎡	㎡	62,240㎡			
合 計	213,403㎡	㎡	㎡	213,403㎡				
(2) 校 舎	専 用	114,411㎡	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	課程単位では特定不能 のため、申請大学全体 の数		
	( ㎡)	( ㎡)	( ㎡)	( ㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	55 50 室	44 39 49 46室	306 333 312 314室	7室 (補助職員14人)	5室 (補助職員98人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			専任教員の退職及び定年 退職のため(元)(2) (3)		
	工学科学部 デザイン・建築学課程		64 60 58 55 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	新規購入・寄贈、除却 による増減(元) (2)(3)
	工学科学部	408,532 [161,174]	8,380 [5,363]	2,886 [2,827]	1,601	4,474	( )	
		410,861 [161,588]	8,400 [5,352]	2,889 [2,830]	1,605	4,741		
		411,353 [161,767]	8,447 [5,363]	2,888 [2,829]	803	5,318		
		414,218 [161,904]	8,501 [5,385]	2,910 [2,851]	831	5,659		
計	(408,532 [161,174])	(8,380 [5,363])	(2,886 [2,827])	(1,601)	(4,474)	( )		
	(410,861 [161,588])	(8,400 [5,352])	(2,889 [2,830])	(1,605)	(4,741)			
	(411,353 [161,767])	(8,447 [5,363])	(2,888 [2,829])	(803)	(5,318)			
	(414,218 [161,904])	(8,501 [5,385])	(2,910 [2,851])	(831)	(5,659)			
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	4,893㎡		546 548 546 540		426,139 428,500			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	1,772㎡		武 道 場 、 弓 場 テ ニ ス コ ー ト 6 面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	京都工芸繊維大学						学生募集停止学科数	16	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
工芸科学部	4	583	50	2432		1.02	1.00			京都府京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地	
応用生物学課程	4	50		200	学士(農学)	1.03	1.00	—	平成18年度改組		
<u>応用化学課程</u>	4	169		676	学士(工学)	1.02	1.00	平成30	平成30年度設置	同上	
生体分子応用化学課程	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成26年度改称	同上	
高分子機能工学課程	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成18年度改組	同上	
物質工学課程	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成18年度改組	同上	
生体分子工学課程	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成18年度改組	同上	
電子システム工学課程	4	61		244	学士(工学)	1.05	1.01	—	平成18年度改組	同上	
情報工学課程	4	61		244	学士(工学)	1.02	1.01	—	平成18年度改組	同上	
機械工学課程	4	86		344	学士(工学)	1.02	1.00	—	平成27年度改称	同上	
機械システム工学課程	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成18年度改組	同上	
<u>デザイン・建築学課程</u>	4	156		624	学士(工学)	1.01	1.00	平成30	平成30年度設置	同上	
デザイン経営工学課程	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成18年度改組	同上	
デザイン・建築学課程	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成26年度改称	同上	
造形工学課程	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成18年度改組	同上	
上記課程共通			50	100							
先端科学技術課程	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成18年度改組	同上	
工芸科学研究科博士前期課程	2	510		1020		0.99	0.99				
応用生物学専攻	2	40		80	修士(農学)	0.95	0.85	—	平成18年度改組	同上	
材料創製化学専攻	2	33		66	修士(工学)	1.09	1.06	—	平成27年度設置	同上	
材料制御化学専攻	2	32		64	修士(工学)	0.98	0.93	—	平成27年度設置	同上	
物質合成化学専攻	2	33		66	修士(工学)	0.88	0.90	—	平成27年度設置	同上	
機能物質化学専攻	2	32		64	修士(工学)	1.03	1.06	—	平成27年度設置	同上	
電子システム工学専攻	2	50		100	修士(工学)	1.06	1.08	—	平成18年度改組	同上	
情報工学専攻	2	46		92	修士(工学)	1.05	1.04	—	平成18年度改組	同上	
機械システム工学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成18年度改組	同上	
機械物理学専攻	2	37		74	修士(工学)	0.99	1.02	—	平成27年度設置	同上	
機械設計学専攻	2	30		60	修士(工学)	0.99	0.96	—	平成27年度設置	同上	
デザイン学専攻	2	45		90	修士(工学)	1.06	1.00	—	平成30年度設置	同上	
デザイン経営工学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成18年度改組	同上	
造形工学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成18年度改組	同上	
建築設計学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成18年度改組	同上	

デザイン学専攻	2	—	—	修士 (工学)	—	—	—	平成26年 度設置	同上
建築学専攻	2	71	142	修士 (工学)又 は(建築設 計学)	1.11	1.14	—	平成26年 度設置	同上
京都工芸繊維大学・フェリス学院国際連携建築学専攻	2	4	8	修士 (学術)	0.50	0.50	—	平成29年 度設置	同上
先端ファイブ科学専攻	2	35	70	修士 (工学)	0.72	0.80	—	平成18年 度改組	同上
バイオベースマテリアル学専攻	2	22	44	修士 (工学)	0.79	0.81	—	平成22年 度設置	同上
工芸科学研究科博士後期課程	3	60	180		0.62	0.41			
生命物質科学専攻	3	—	—	博士 (学術)又 は(工学)	—	—	—	平成18年 度改組	同上
バイオテクノロジー専攻	3	6	18	博士 (学術)	1.11	0.83	—	平成27年 度設置	同上
物質・材料化学専攻	3	13	39	博士 (学術)又 は(工学)	0.50	0.38	—	平成27年 度設置	同上
電子システム工学専攻	3	5	15	博士 (学術)又 は(工学)	0.73	0.80	—	平成27年 度設置	同上
設計工学専攻	3	10	30	博士 (学術)又 は(工学)	0.76	0.70	—	平成18年 度改組	同上
造形科学専攻	3	—	—	博士 (学術)又 は(工学)	—	—	—	平成18年 度改組	同上
デザイン学専攻	3	5	15	博士 (学術)又 は(工学)	0.73	0.20	—	平成26年 度設置	同上
建築学専攻	3	7	21	博士 (学術)又 は(工学)	0.52	0.00	—	平成26年 度設置	同上
先端ファイブ科学専攻	3	8	24	博士 (学術)又 は(工学)	0.58	0.37	—	平成18年 度改組	同上
バイオベースマテリアル学専攻	3	6	18	博士 (工学)	0.16	0.00	—	平成24年 度設置	同上

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。  
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。  
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

























専任 助教	中山 利恵 ( ) <平成30年4月> 博士 (工学)	中山 利恵 ( ) <平成30年4月> 博士 (工学)	中山 利恵 ( ) <平成30年4月> 博士 (工学)	中山 利恵 ( ) <平成30年4月> 博士 (工学)	中山 利恵 ( ) <平成30年4月> 博士 (工学)	中山 利恵 ( ) <平成30年4月> 博士 (工学)
専任 助教	松田 剛佐 ( ) <平成30年4月> 修士 (工学)	松田 剛佐 ( ) <平成30年4月> 修士 (工学)	松田 剛佐 ( ) <平成30年4月> 修士 (工学)	松田 剛佐 ( ) <平成30年4月> 修士 (工学)	松田 剛佐 ( ) <平成30年4月> 修士 (工学)	松田 剛佐 ( ) <平成30年4月> 修士 (工学)
専任 助教	松本 裕司 ( ) <平成30年4月> 博士 (学術)	松本 裕司 ( ) <平成30年4月> 博士 (学術)	松本 裕司 ( ) <平成30年4月> 博士 (学術)	松本 裕司 ( ) <平成30年4月> 博士 (学術)	松本 裕司 ( ) <平成30年4月> 博士 (学術)	松本 裕司 ( ) <平成30年4月> 博士 (学術)
専任 助教	三村 充 ( ) <平成30年4月> 博士 (工学)	三村 充 ( ) <平成30年4月> 博士 (工学)	三村 充 ( ) <平成30年4月> 博士 (工学)	三村 充 ( ) <平成30年4月> 博士 (工学)	三村 充 ( ) <平成30年4月> 博士 (工学)	三村 充 ( ) <平成30年4月> 博士 (工学)
専任 助教	三宅 拓也 ( ) <平成30年4月> 博士 (学術)	三宅 拓也 ( ) <平成30年4月> 博士 (学術)	三宅 拓也 ( ) <平成30年4月> 博士 (学術)	三宅 拓也 ( ) <平成30年4月> 博士 (学術)	三宅 拓也 ( ) <平成30年4月> 博士 (学術)	三宅 拓也 ( ) <平成30年4月> 博士 (学術)
専任 助教	MARTINEZ ALEJANDRO ( ) <令和元年10月> 博士 (工学)	MARTINEZ ALEJANDRO ( ) <令和元年10月> 博士 (工学)	MARTINEZ ALEJANDRO ( ) <令和元年10月> 博士 (工学)	MARTINEZ ALEJANDRO ( ) <令和元年10月> 博士 (工学)	MARTINEZ ALEJANDRO ( ) <令和元年10月> 博士 (工学)	MARTINEZ ALEJANDRO ( ) <令和元年10月> 博士 (工学)
専任 助教						

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。  
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。  
 ・ その上で、**履修又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。**  
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。  
 ・ 年齢は、**それぞれその年度の5月1日時点の誕生日**を記入してください。  
 ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼担、兼任の順に記入してください)。  
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・池側准教授、金尾准教授、阪田准教授、清水准教授が教授に昇任（教員審査省略）
- ・岩本講師が准教授に昇任（教員審査省略）
- ・佐々木講師、北尾助教が就任辞退（自己都合退職）
- ・小島助教を採用（教員審査省略）

【令和元年度】

- ・北口講師、村本講師が准教授に昇任（教員審査省略）
- ・満田教授、SUZUKI准教授、登谷准教授、JAEHYUN准教授を採用（教員審査省略）
- ・鈴木教授、宮里教授が定年退職
- ・矢ヶ崎准教授が辞任（自己都合退職）

【令和2年度】

- ・木谷准教授、平芳准教授が教授に昇任（教員審査省略）
- ・赤松講師が准教授に昇任（教員審査省略）
- ・津田講師、MARTINEZ ALEJANDRO助教を採用（教員審査省略）

【令和3年度】

- ・金野准教授を採用（教員審査省略）
- ・綾教授、魚谷教授、武井教授、水野教授、山下准教授を配置換え（教員審査省略）
- ・角田准教授が教授に昇任（教員審査省略）
- ・井戸講師が准教授に昇任（教員審査省略）
- ・木下助教、中山助教が准教授に昇任（教員審査省略）
- ・中川教授、LI准教授が定年退職
- ・川北教授、米田教授、中坊准教授、市川助教が退職（自己都合退職）

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
  - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
11	6
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
22	16	6	11	55	2	24	19	1	9	53	2
( 21 )	( 13 )	( 5 )	( 11 )	( 50 )	( 2 )						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
24	19	1	9	53	2	22	16	6	11	55	2
[ 2 ]	[ 3 ]	[ Δ5 ]	[ Δ2 ]	[ Δ2 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長して 採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{53}{55} = \boxed{96.36} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{53} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{2}{2} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
								選択	必修	自由			
1	講師	佐々木 厚司	H30.3	選択	建築計画Ⅱ	①	H30.3.31 他大学に異動のため就任辞退（30）						
				選択	環境デザイン論	①							
				選択	建築計画演習	①							
				必修	ソーシャルインタラクティブデザイン概論	①							
				必修	デザイン・建築基礎実習	①							
				選択	デザイン・建築表現演習	①							
				選択	ソーシャルインタラクティブデザイン演習	①							
				選択	デザイン・建築学演習	①							
				必修	卒業研究	①							
				必修	卒業プロジェクト	①							
2	助教	北尾 聡子	H30.3	選択	建築設計実習Ⅳ	①	H30.3.31 他大学に異動のため就任辞退（30）						
				選択	建築構造材料実験	①							
				必修	ソーシャルインタラクティブデザイン概論	①							
				必修	デザイン・建築基礎実習	①							
				選択	デザイン・建築表現演習	①							
				選択	ソーシャルインタラクティブデザイン演習	①							
				選択	デザイン・建築学演習	①							
				必修	卒業研究	①							
				必修	卒業プロジェクト	①							
				合計（D）					後任補充状況の集計（E）				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
2	人	必修	8	科目	必修	8	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	11	科目	選択	11	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	19	科目	計	19	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までには専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	矢ヶ崎 善太郎	H31.3	選択	京のまち	①	H31.3.31付け、他大学に異動のため辞任（元）
				選択	建築設計実習Ⅰ	①	
				選択	建築設計実習Ⅱ	①	
				選択	建築設計実習Ⅲ	①	
				選択	建築設計実習Ⅳ	①	
				選択	日本建築史	①	
				選択	建築測量演習	①	
				選択	伝統建築演習	①	
				選択	建築設計製図Ⅰ	①	
				選択	建築設計製図Ⅱ	①	
				選択	建築設計製図Ⅲ	①	
				必修	ソーシャルインタラクティブデザイン概論	①	
				必修	デザイン・建築基礎実習	①	
				選択	デザイン・建築表現演習	①	
				選択	デザイン・建築学演習	①	
				必修	卒業研究	①	
必修	卒業プロジェクト	①					
2	教授	川北 眞史	R3.3	選択	プロジェクトデザインⅠ	①	R3.3.31 一身上の都合により退職（3）
				選択	プロジェクトデザインⅡ	①	
				選択	プロジェクトデザインⅢ	①	
				選択	プロジェクトデザインⅣ	①	
				選択	企業経営学概論	①	
				選択	プロジェクトマネジメント	②	
				選択	会計・財務基礎	②	
				必修	ソーシャルインタラクティブデザイン概論	①	
				必修	デザイン・建築基礎実習	①	
				選択	デザイン・建築表現演習	①	
				選択	ソーシャルインタラクティブデザイン演習	①	
				選択	デザイン・建築学演習	①	
				必修	卒業研究	①	
				必修	卒業プロジェクト	①	

3	教授	米田 明	R3.3	選択	建築設計実習Ⅰ	①	R3.3.31 一身上の都合により退職(3)		
				選択	建築設計実習Ⅱ	①			
				選択	建築設計実習Ⅲ	①			
				選択	建築設計実習Ⅳ	①			
				選択	建築職能論	①			
				選択	建築設計製図Ⅰ	①			
				選択	建築設計製図Ⅱ	①			
				選択	建築設計製図Ⅲ	①			
				必修	ソーシヤルインテラクシヨナルデザイン概論	①			
				必修	デザイン・建築基礎実習	①			
				選択	デザイン・建築表現演習	①			
				選択	デザイン・建築学演習	①			
				必修	卒業研究	①			
必修	卒業プロジェクト	①							
4	准教授	中坊 壮介	R3.3	選択	プロジェクトデザインⅠ	①	R3.3.31 一身上の都合により退職(3)		
				選択	プロジェクトデザインⅡ	①			
				選択	プロジェクトデザインⅢ	①			
				選択	プロジェクトデザインⅣ	①			
				選択	製品技術論	①			
				必修	ソーシヤルインテラクシヨナルデザイン概論	①			
				必修	デザイン・建築基礎実習	①			
				選択	デザイン・建築表現演習	①			
				選択	ソーシヤルインテラクシヨナルデザイン概論	①			
				選択	デザイン・建築学演習	①			
				必修	卒業研究	①			
				必修	卒業プロジェクト	①			
				5	助教	市川 靖史		R2.9	選択
選択	プロジェクトデザインⅡ	①							
選択	プロジェクトデザインⅢ	①							
選択	プロジェクトデザインⅣ	①							
選択	写真・映画論	①							
選択	デザインプラクティスⅠ	①							
選択	デザインプラクティスⅢ	①							
選択	デザインプラクティスⅣ	①							
必修	ソーシヤルインテラクシヨナルデザイン概論	①							
必修	デザイン・建築基礎実習	①							
選択	デザイン・建築表現演習	①							
選択	ソーシヤルインテラクシヨナルデザイン概論	①							
選択	デザイン・建築学演習	①							
必修	卒業研究	①							
必修	卒業プロジェクト	①							
合計(F)				後任補充状況の集計(G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
5	人	必修	20 科目	必修	20 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	52 科目	選択	50 科目	選択	2 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	72 科目	計	70 科目	計	2 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計(D)+(F)			後任補充状況の集計(E)+(G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
7 人	必修	28 科目	必修	28 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	63 科目	選択	61 科目	選択	2 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	91 科目	計	89 科目	計	2 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{7}{55} = 12.72 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

4

 人

- (注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由								
1	教授	鈴木 克彦	選択	建築設計実習Ⅰ	①	H31.3.31付け65歳で定年退職(元)								
			選択	建築設計実習Ⅱ	①									
			選択	建築設計実習Ⅲ	①									
			選択	建築設計実習Ⅳ	①									
			選択	建築計画Ⅰ	①									
			選択	住環境計画	①									
			選択	建築計画演習	①									
			選択	建築設計製図Ⅰ	①									
			選択	建築設計製図Ⅱ	①									
			選択	建築設計製図Ⅲ	①									
			必修	ゾーニング・都市デザイン概論	①									
			必修	デザイン・建築基礎実習	①									
			選択	デザイン・建築表現演習	①									
			選択	デザイン・建築学演習	①									
			必修	卒業研究	①									
			必修	卒業プロジェクト	①									
2	教授	宮里 勉	選択	プロジェクトデザインⅠ	①	H31.3.31付け65歳で定年退職(元)								
			選択	プロジェクトデザインⅡ	①									
			選択	プロジェクトデザインⅢ	①									
			選択	プロジェクトデザインⅣ	①									
			選択	エンジニアリング概説	①									
			選択	CAD/CG実習	①									
			必修	ゾーニング・都市デザイン概論	①									
			必修	デザイン・建築基礎実習	①									
			選択	デザイン・建築表現演習	①									
			選択	ゾーニング・都市デザイン演習	①									
			選択	デザイン・建築学演習	①									
			必修	卒業研究	①									
			必修	卒業プロジェクト	①									
			3	教授	中川 理		選択	京のまち	①	R3.3.31付け65歳で定年退職(3)				
							選択	建築設計実習Ⅰ	①					
							選択	建築設計実習Ⅱ	①					
選択	建築設計実習Ⅲ	①												
選択	建築設計実習Ⅳ	①												
選択	景観論	①												
選択	現代美術館学	①												
選択	建築設計製図Ⅰ	①												
選択	建築設計製図Ⅱ	①												
選択	建築設計製図Ⅲ	①												
必修	ゾーニング・都市デザイン概論	①												
必修	デザイン・建築基礎実習	①												
選択	デザイン・建築表現演習	①												
選択	デザイン・建築学演習	①												
必修	卒業研究	①												
必修	卒業プロジェクト	①												
4	准教授	LI ANDREW I KANG	選択	図学	①	R3.3.31付け65歳で定年退職(3)								
			選択	プロジェクトデザインⅠ	①									
			選択	プロジェクトデザインⅡ	①									
			選択	プロジェクトデザインⅢ	①									
			選択	プロジェクトデザインⅣ	①									
			選択	コンピュータグラフィカルデザイン	②									
			必修	ゾーニング・都市デザイン概論	①									
			必修	デザイン・建築基礎実習	①									
			選択	デザイン・建築表現演習	①									
			選択	ゾーニング・都市デザイン演習	①									
			選択	デザイン・建築学演習	①									
			必修	卒業研究	①									
			必修	卒業プロジェクト	①									
			合計				後任補充状況の集計							
			辞任した教員数				担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
			4	人	必修		16	科目	必修	16	科目	必修	0	科目
選択	42	科目			選択	41	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	
自由	0	科目			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
計	58	科目			計	57	科目	計	1	科目	計	0	科目	

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任担当教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

辞任・退職教員及び定年退職教員が担当していた科目については一部の選択科目を除き他の専任教員が担当しており、学生指導に不足はない状態であり、学生に対しては、教科課程公表の際に当該教員が退職した旨周知している。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。



6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成29年)	該当なし		
設置計画履行状況  調 査 時 (平成30年)	入学定員超過の改善に 努めること	改善意見	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<工芸科学部 デザイン・建築学課程>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>総合教育センター 教育評価・FD部会 構成員</p> <table> <tr> <td>総合教育センター副センター長</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>各副学域長</td> <td>7名</td> </tr> <tr> <td>各副課程長</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>各副専攻長</td> <td>18名</td> </tr> <tr> <td>各副学科目長</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>学務課長</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>学長が指名する者</td> <td>若干名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>40名+若干名</td> </tr> </table> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>令和2年度第1回 総合教育センター教育評価・FD部会 議題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 総合教育センター 教育評価・FD部会の組織及び業務内容等について</li> <li>2. 令和2年度年度計画について</li> <li>3. 令和2年度 FD事業一覧、スケジュールについて</li> <li>4. 令和2年度第1回教員FD研修会の実施について</li> <li>5. 「総合教育センター教育評価・FD部会報告書2019」の原稿確認について</li> <li>6. オンライン授業における Moodle の管理補助者の権限付与について</li> </ol> <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和元年度 FD事業報告について</li> <li>2. 令和2年度 FD事業について</li> </ol> <p>参加率：95% (38/40名)</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 教育実態及び教育成果の調査方法の検討に関すること</li> <li>(2) 授業評価の実施及び分析に関すること</li> <li>(3) 教育改善についての研修会・講演会等の実施(新入教員の研修を含む)に関すること</li> <li>(4) 授業公開の実施及び分析に関すること</li> <li>(5) 教育懇談会、卒業生・修了生調査協力者会議の実施に関すること</li> <li>(6) 成績評価法の研究に関すること</li> <li>(7) 大学評価室との連携に関すること</li> <li>(8) 教育に対する自己点検・自己評価に関すること</li> <li>(9) その他</li> </ol>	総合教育センター副センター長	1名	各副学域長	7名	各副課程長	10名	各副専攻長	18名	各副学科目長	3名	学務課長	1名	学長が指名する者	若干名	合計	40名+若干名
総合教育センター副センター長	1名															
各副学域長	7名															
各副課程長	10名															
各副専攻長	18名															
各副学科目長	3名															
学務課長	1名															
学長が指名する者	若干名															
合計	40名+若干名															

② 実施状況

a 実施内容

- ・教員FD研修会
- ・授業公開
- ・オンライン授業実施方法調査
- ・教員FDアンケート

b 実施方法

e-Learningシステムを使用しての研修（FD 研修会）、オンライン授業の見学（授業公開）、ウェブアンケート（オンライン授業実施方法調査、教員FDアンケート）

c 開催状況（教員の参加状況含む）

教員FD研修会…1回開催  
授業公開…2回開催  
オンライン授業実施方法調査…2回実施  
教員FDアンケート…2回実施  
教員のFD参加率…90.8%

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教員FD研修会や授業公開で得られた効果的な授業方法を自分の授業に活用したり、アンケートで得られた学生の意見等を参考にしたりしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前(春)学期終了後（7月29日（水）～10月9日（金））  
後(秋)学期終了後（1月6日（水）～3月11日（木））

b 教員や学生への公開状況、方法等

アクセス制限のあるウェブサイトにて、各科目の評価の平均と、科目担当教員へは自由記述の意見についても開示した

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

デザインには、プロダクト・グラフィック・建築空間・都市といった既存領域を越え、人工知能・ビッグデータ・IoTなどを活用した、社会的課題への創造的な解決手段としての期待が高まっている。デザイナーにはクリエイティビティに根差した多様な社会ニーズへの柔軟な対応能力が求められることになる。この社会背景のもと新課程では、デザイン思考を駆使し新たなサービス価値を創出し、そうしたビジネスやコミュニティ環境を構築しうる人材育成を目指し、社会をリードする統合的デザイン教育を実践する。

現在の達成状況に関する総括評価・所見は、以下の通りである。

1. 学生の志願状況について

新たなデザイン・建築学課程での一般入試で、同一の形式で実施した過去3年間の志願状況は表1のとおりである。全国的に受験者数が減少する中で、本課程の一般入試（前期・後期日程）は、変動はあるものの出願倍率、受験倍率ともに一定の高倍率を保っているといえる。また表2のAO入試（一般）の過去3年間でも、順調に受験者数を増やしていることがわかる。これらより新課程では、入学定員（156名）を問題なく充足しており、かつ高倍率の受験生の中から本課程にふさわしい優秀な学生を選抜できる状態にあることが読み取れる。なお、令和2年における一般入試での若干の倍率落ち込みの背景については、検討の余地がある。

表1

一般入試		募集人員	出願者数	出願倍率	受験者数	受験倍率
前期	平成31年	91	452	5.0	442	4.9
	令和2年	91	319	3.5	312	3.4
	令和3年	91	371	4.1	358	3.9
後期	平成31年	38	236	6.2	120	3.2
	令和2年	38	181	4.8	81	2.1
	令和3年	38	290	7.6	146	3.8

表2

AO入試（一般）					
平成31年	16	205	12.8	204	12.8
令和2年	16	209	13.1	209	13.1
令和3年	16	233	14.6	233	14.6

表3

平成30年	デザインコース63名 建築コース100名
平成31年	デザインコース56名 建築コース104名
令和2年	デザインコース53名 建築コース102名（過年度生1名含む）

2. 教育方法について

統合により従来のデザイン・建築領域に加え、ビジネス系、テクノロジー系教員も参加した授業群（ソーシャルインタラクティブデザイン概論、デザイン・建築基礎実習、ソーシャルインタラクティブデザイン演習）を1年次から配当し、早い段階で新課程全体を俯瞰する視点を獲得し、枠にとられないデザイン思考を醸成しうる基盤教育を用意してきた。その上で1年次後期からデザイン・建築コースにいずれかに配属、順次専門的な教育を積み上げ、3年次にはより細分化された専門教育の場であるゼミに所属する体制は、この3年間で安定感を持つに至っている。各学生の意向を尊重しながら決定するコース配属（表3）は3年間を通して一定の人数配分に落ち着いている。一方でカリキュラム検討会議では継続的に議論を重ね、令和2年度は1年次の授業のさらなる改善の検討などを行った。なお、令和2年度はコロナ禍で通常の教育体制を維持できない事態に至ったが、オンラインと少人数による対面型実習等を適切に駆使し、深い学びを維持するための教育環境構築に注力した。令和3年度はその影響を含め、本課程の目指す教育・研究の垂直深化と水平展開を担保するべく学生らの就学状況などの動向を注視し、問題が見られた場合はそのアフターケアに努めていきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成30年3月 公表

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・令和3年度に評価機関（大学改革支援・学位授与機構）の評価を受ける予定。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）	
a 公表予定の有無	[ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 ]
《 aで「有」の場合》	
b 公表（予定）時期	[ <input checked="" type="radio"/> 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]
c 公表方法	[ <input checked="" type="radio"/> ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ( ) ]
《 aで公表「無」の場合》	
d 公表しない理由	[ ( ) ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、  
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。